

会 議 録

会議の名称		令和6年度 第1回つくば未来塾運営会議		
開催日時		令和6年(2024年)6月18日(火) 開会10時30分 閉会11時45分		
開催場所		つくば市役所4階 ミーティング室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	中山正巳(座長)、茂在哲司(副座長)、森田修司 岡野知樹		
	その他	なし		
	事務局	課長 澤頭由紀子、参事 山口健次 課長補佐 瓜阪恵理名、係長 飯島 遊 社会教育主事 村上和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	なし
非公開の場合はその理由				
議題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業概要説明 ・ 令和5年度実績報告 ・ 令和6年度事業計画 		
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 主催者挨拶 3 委嘱状交付 4 委員及び職員紹介 5 座長及び副座長の選出 6 議事 <p>(1) つくば未来塾事業概要</p>			

(2) 令和5年度実績報告
(3) 令和6年度事業計画
(4) 令和7年度以降のつくば未来塾事業
7 その他
8 閉会

<審議内容>

事務局（瓜阪補佐）：本日はお忙しい中、本運営会議に御参加いただきましてありがとうございます。ただいまより令和6年度第1回つくば未来塾運営会議を開催いたします。

この会議に関しましては、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例第3条に基づき、公開の会議とさせていただきます。会議録につきましては、後日、つくば市のホームページの方に掲載させていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。では、はじめにつくば市教育局生涯学習推進課課長の澤頭から御挨拶申し上げます。

よろしくお願いたします。

事務局（澤頭課長）：皆さまおはようございます。生涯学習推進課課長澤頭でございます。どうぞよろしくお願いたします。本日は御多用の中、つくば未来塾運営会議に御出席いただきましてありがとうございます。皆様には本日から今年度末までの任期で委員を委嘱させていただいております。どうぞよろしくお願いたします。

この未来塾なのですが、平成21年度から放課後学習チューター事業として、市内全中学校へ学習チューターを派遣しまして、中学生を対象とした学習支援を行っているところでございます。事業の実施には、筑波大学をはじめとした大学生や多くの地域人材、関係機関の方々の御協力をいただいております。近

年重視されている、学校と地域の連携、協働といった観点からもこの未来塾事業はますます重要な事業であると認識しております。今年度の未来塾事業につきましては、今年4月に開校いたしましたみどりの南中学校が加わりまして、全18校で実施する運びとなっております。市といたしましては、学習支援に熱意ある人材をより幅広く募集するため、学習チューター募集のチラシのデザインを一新いたしました。その結果、昨年度と比べまして、登録者数は24名増加しております。また、昨年度の運営会議におきまして、皆様からいただきました様々な御意見を参考にさせていただきます、参加者アンケートの項目も見直しをさせていただいております。事業運営において効率的な方法へと改善し、さらなる充実を図ってまいりたいと考えております。そこで、本日は、皆様から忌憚のない御意見、御助言をいただきまして、未来塾事業の円滑な実施に向けて推進してまいりたいと考えております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局（瓜阪補佐）：それでは続きまして、生涯学習推進課参事の山口より委嘱状を交付いたします。名簿順に、茂在委員から交付いたしますので、茂在委員、恐れ入りますが前へお進みください。

委嘱状交付

事務局（瓜阪補佐）：なお、本日、中島委員につきましては所用のため欠席の連絡をいただいております。後ほど事務局より委嘱状をお渡ししたいと思います。

委員自己紹介

事務局自己紹介

事務局（瓜阪補佐）：続きまして、資料の確認を行います。資料は配布資料一覧のとおりとなっております。過不足がありましたら、事務局までお申しつけください。

では、座長の選出に移ります。令和6年度つくば未来塾運営会議開催要項第5条の規定により「座長及び副座長は、委員の互選により定める。」と規定されております。

座長及び副座長の選出方法等につき、御意見はございますでしょうか。

森田委員：事務局に一任します。

事務局（瓜阪補佐）：ありがとうございます。ただいま事務局案等のお声をいただきました。委員の皆様、よろしいでしょうか。

委員：異議なし。

事務局（瓜阪補佐）：異議なしとの声がございましたので、事務局案にて、つくば市青少年相談員連絡協議会会長である中山（なかやま）委員に座長を、竹園東中学校の校長を務められている茂在（もざい）委員に副座長をお願いしたいと考えておりますが、皆様よろしいでしょうか。

委員：お願いします。

事務局（瓜阪補佐）：ありがとうございます。それでは中山座長、茂在副座長、お席の移動をお願いいたします。

事務局（瓜阪補佐）：では、中山座長と茂在副座長より一言御挨拶をいただきたいと思います。

中山座長：はい。改めましてこんにちは。今日はすごい雨が降っていますが、この辺りは大したことがないようでよかったです。東海地方や東京でも冠水するのではないかと予測されていますが、大変なことにならないければよいと思います。青少年相談員協議会も30数年やっておりまして、会長も10数年やっているところです。私で3代目の会長となっております。今回の事務局の生涯学習推進課の方とも多くのやりとりをこれまでしてきました。不慣れではござ

いますが、座長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

茂在副座長：私は中学校での勤務が多くありましたので、つくば未来塾事業については良い取組であると感じています。一方で保護者の考え方や価値観の多様化などを考えると常に見直してより良いものにしていく必要があるとも感じています。是非、このつくば未来塾運営会議の中で改善できるところは改善し、良いところはさらに伸ばしていけるような会議になれば良いかなと思っています。短い時間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（瓜阪補佐）：ありがとうございました。それでは、ここからの議事進行につきましては、中山座長にお願いします。

中山座長：それでは、次第に従いまして議事に入りたいと思います。

まず、議事(1)つくば未来塾事業概要、議事(2)令和5年度実績報告について事務局より説明をお願いします。

事務局（村上社会教育主事）：改めまして、社会教育主事の村上でございます。私のほうから事業概要について御説明させていただきます。資料を御覧ください。先ほど、課長の挨拶にもありましたが、つくば市内及び近隣地域の大学や地域の御協力の下、学力向上を目的に御支援をいただいている事業でございます。目的につきましては、学力向上、学習習慣の定着を意識して事業を行っているところです。特に学力向上のところなのですが、生徒のつまずきの解消ということで、生徒の課題について解消できるように学習チューターの方々にはかかわっていただいています。

2の概要図を御覧ください。概要図にも示されていますように、学校と地域が連携することで子どもたちの力を育てるということも併せて目的とされています。

3の対象者なのですけれども、つくば市立中学校及び義務教育学校の後期課程ということで、中学校1年生から中学校3年生、つくば市では小中一貫の視

点から7年生から9年生と呼んでいますが、これらの生徒が対象となっております。

4の学習チューターの対象者なのですけれども、つくば市内及び近隣地域の大学生または大学院生、それから地域住民の方、こういった方に御協力をいただいております。昨年度の実績で申し上げますと学習チューターの登録者数171名なのですが、半数は筑波大学関係の方、半数は地域の方ということで様々な方に御登録いただいております。有償ボランティアですので、謝礼も出ております。実施にあたっての注意事項や心構えということで、特に生徒に関わる事業になりますので、生徒のかかわり方や参加するにあたっての心構え等を7月上旬に行われる事前のオリエンテーションにて、学習チューターの方々には伝えているところです。

実施内容なのですが、各学校に派遣された学習チューターが5教科（国語、社会、数学、理科、英語）について、生徒に助言をしています。実際の学習形態としましては、各学校の実態に応じて、特色はあるのですが、基本的には、生徒たちが自習のような形で学習を進めているところに、学習チューターの方々が寄り添って学習を生徒と一緒に進めていくような形です。

6の実施時期及び実施時間ですが、こちらも各学校の実態に応じて様々です。夏季休業中に行う学校は、1日大体2～3時間で実施しています。それから、つくば未来塾事業は7月から1月末日の期間で実施しておりますので、年間を通して、平日の放課後にバランスよく時間をとって実施している学校もあります。

事務局（飯島係長）：では、続きまして、私のほうから令和5年度つくば未来塾実績報告について御説明をさせていただきます。資料を御覧ください。令和5年度つくば未来塾事業実績から御説明いたします。

まず、1番のところから、実数と経年比較になります。昨年度2回目のつくば未来塾運営会議でも御説明をさせていただいたのですが、新任の委員の方も

いらっしゃいますので、改めて御報告をさせていただきます。令和5年度の実績としまして、延べ実施時間が1497.5時間、実施延べ日数が194日、全チューター延べ人数が781名、学生協力人数が344名、筑波大学の大学院生を含む延べ人数287名、他大学延べ人数が57名、一般協力延べ人数が437名、参加生徒の延べ人数が9,558名、学習チューターの登録数が171名、また、令和5年度の中学校、義務教育学校の在籍人数が6,584名となっております。表を見ていただくとお分かりになると思いますが、ほとんどの項目が令和4年度よりも伸びた数値となっております。これに関しましては、令和4年度までは新型コロナウイルスの影響により、つくば未来塾の実施が中止になるということがありました。しかし、令和5年度、新型コロナウイルスが5類に指定されたことにより、この影響がほぼなくなったことで、令和5年度については、計画どおりに実施することができました。

また、協力していただいているチューターの方の内訳ですが、欄外にございますとおり、筑波大生が63名、筑波大学院生が16名、他大学の学生が16名、一般の方が76名ということで、先ほど御説明がありましたように、筑波大学の学生の方より多く御協力をいただいておりますが、また、同時に一般の方にも御協力をいただいております。学校と地域の連携という意味合いにおきましても、こうした実績のある事業ではないかと考えております。

続きまして、平均値と経年比較について御説明させていただきます。こちらにつきましては、チューター一人あたりの活動日数、1日あたりのチューター数、一人あたりの担当生徒数、生徒一人当たりの参加回数、1日あたりの参加生徒数を経年で表に示してあります。こちらに関しましては、多少増減はありますが、特段大きな変化はないと分析しております。

続きまして、3の予算執行率について、御説明させていただきます。予算編成に関しましては、当初予算額、年度途中で不要と見込まれる額については、3月議会において、補正予算という形で減額補正を取らせていただいております。

す。その両方を記載させていただいております。

決算額の説明をさせていただきます。一番大きな支出を占める報償費 3,309,500 円となっております。こちらに関しましては、枠の下にございますが、学習チューターの方にお支払いする謝礼、1時間当たり 2,200 円となっております。こちらの総額が、3,294,500 円、また、この運営会議の皆様にお支払いする謝礼が 15,000 円となっております、この合計した額が決算額となっております。

また、旅費につきましては、1,766 円とつくば未来塾運営会議の委員の方にお支払いする旅費となっております。こちらに関しましては、令和4年度までは、謝礼と旅費を別々にお支払いしておりましたが、令和5年度からは、謝礼の中に旅費を含めることになりました。その影響もありまして、旅費が当初予算に比べ、3月の補正の予算額で 300,000 円ほど減少しております。

続きまして、需用費となります。こちらに関しましては、事業を実施する各学校1校あたり、消耗品代 20,000 円とテキスト代 20,000 円の合計 40,000 円を市の方から支出しております。こちらの支出の合計額となっております。

また、役務費に関しましては、学習チューターが学校に向かう途中や学習支援中事故にあった際の傷害保険に入っております。この保険の傷害保険料となっております。こちらの予算全体の執行率が当初予算ベースで 76.84 パーセントまた、3月補正を基準にしますと 81.87 パーセントの執行となっております。また、このつくば未来塾事業に関しましては、県と国からの補助金や地域の教育支援体制等構築事業費補助金というものを活用しております。こちらに関しましては、今年度、国から交付決定があった額が 2,983,000 円、また事業の実績に基づいて、実際に市に歳入として、支払われた額が 2,503,000 円となっております。一般会計、市の単独の予算からの歳出はこの決算額から交付確定額を引いた、1,254,541 円こちらが市の歳出となっております。私の方から実績については以上となります。

事務局（村上社会教育主事）：続けて、つくば未来塾事業の課題と成果について御説明させていただきます。生徒の学習上のつまずきの解消について、学習意欲の向上に関して、学校と地域の連携に関してというところですが、アンケートの数値を見ていただきますと、概ね8割を超えていまして、事業の成果としては、良い方向に向かっているのではないかと感じております。生徒の学習上のつまずきの解消についてですけれども、意識の高い生徒については、資料のコメントにもお示しさせていただいておりますが、事前に質問事項を整理し、つくば未来塾が始まると同時に学習チューターの方に自分の分からないところをまとめたものを質問するような姿が見られました。そういったこともあり、つまずきの解消という点でも成果が得られているかなと感じております。

それから、学習意欲の向上についてですけれども、生徒と学習チューターのかかわりの中で、地域の方や年齢の近い大学生など新たな刺激がかかわることによって、学習意欲の向上がみられるようなきっかけがありました。実際につくば未来塾を実施している時間に我々もお伺いさせていただいたのですが、楽しそうに学習している様子が見られましたので、効果があったのかなと感じております。

学校と地域の協働連携に関してですけれども、そちらの資料にもお示ししてありますが、筑波大学の関係者が多く参加していただいております。それから、筑波大学関係の方だけではなく、一般の方で、御自身の知識や御経験を生徒のために伝えたいと前向きに考えておられる方が非常に多くいらっしゃいます。そういった方の御協力をいただいて、支えられている事業となっているかと思えます。

続いて課題と対応というところなのですが、各学校で好事例がありますので、今年度は教務主任会等で情報共有する場面をつくりたいと考えております。

また、チューターの不足する地区があります。特に大学生などお車をお持ちでない方は、お車が必要な学校に行けるチューターの方が限られているという

実態もあります。

また、つくば未来塾におけるアンケートの見直しも行いました。先生方から成果と検証の方法が難しいというお声がありましたので、この後、御説明をさせていただきますが、アンケートの質問項目の修正等をさせていただいたところでは、私の方からは以上です。

中山座長：ただいま、事務局から事業概要と令和5年度の実績報告について説明がありました。何か御質問ありましたらお願いします。

森田委員：いまいち参加されている生徒さんのイメージが湧かなかったのですが、生徒一人あたりの参加回数が1.5と書いてあるのですけれども、これは、在籍生徒と参加生徒延べ人数を割った数というとらえでよろしいのでしょうか。結局、参加されている方が1回とか2回しか参加していない状況なのか、利用する生徒は毎日のように利用されているのかでとらえ方が違ってくるのかなと思ったのですが。

(事務局) 飯島係長：御質問ありがとうございます。おっしゃるとおり、こちらに関しましては、平均参加回数というとらえで、全ての生徒が1.5回の参加ということではございません。生徒によっては、何度も参加されているような状況にあります。

森田委員：そうするとですね。学校に在籍している方6,584人いて、この内どれくらいの方が、利用していて、例えばその内2,000人くらいが利用しているのだとしたら、おそらく2,000人くらいの方は一人が5回ずつくらいの参加されていることになろうかと思うのですが、実際に何人くらいの生徒が参加しているかの情報はありますか。

(事務局) 飯島係長：はい。そちらに関しては、申し訳ないのですが、現時点では把握はしておりません。ただ、今後そういった参加生徒の詳細について把握することは可能かと思っておりますので、今後の検討とさせていただきます。ありがとうございます。

中山座長：その他に質問の方はございますか。ないようでしたら、続いて令和6年度事業計画について事務局の方より説明をお願いします。

(事務局) 飯島係長：続きまして、令和6年度事業計画について、御説明をさせていただきます。資料の方を御覧ください。

まず、予算措置から御説明いたします。本年度、当初予算額に関しましては、全体で5,187,000円となっております。その中で一番多く占めるのは、チューターの謝礼などに当たります報償費、4,386,000円となっております。昨年度予算の3,770,000円より増額しております。こちらに関しましては、今年度より新設校でみどりの南中学校が増えたこと、また、昨年度の当初予算では、チューター一人当たりの謝礼を1時間2,000円として積算しておりましたが、今年度一人当たり1時間、2,200円の積算になりましたので、その分増加している形になっています。

また、続きまして旅費に関しましては、今年度予算額が2,000円となっております。こちら、昨年度、当初予算352,000円から減額されています。こちらは、事業報告の際に御説明させていただきましたように、昨年度から旅費の方をチューターの謝礼と一本化したために、その分の旅費を減額しているものとなっております。続きまして需用費、こちらが今年度予算、720,000円となっております。昨年度予算、680,000円に対して増額しております。こちらも新設校としてみどりの南中学校が増えたことよっての増額となります。役務費に関しましては、今年度予算額は79,000円、こちらは学習チューターの傷害保険料となっておりますが、昨年度予算と同様となっております。

続きまして、歳入について御説明させていただきます。歳入に関しましては、事業報告でも申し上げましたように、国及び県の地域の教育支援体制等構築事業費補助金が活用されております。昨年度の交付確定額、2,503,000円でしたが、今年度、県の方から補助金の上限として、内示が年度当初に出ています。こちらが、2,870,000円となっております。この2,870,000円に関しましては、

令和5年度の時点で、市の方から必要経費を県の方に報告しまして、その結果を受けて内示される金額でございます。こちらにつきましては、市の要望がそのままというわけではなく、国の方の予算にも限りがありますので、若干減額されて内示されますが、この額が2,870,000円となっております。

また、この補助金額に関しましては、原則として補助対象経費の3分の2となっております。残りの3分の1は市の経費から支出となっております。予算措置に関しては以上となります。

(事務局) 村上社会教育主事：続きまして、学習チューターの募集概要について御説明させていただきます。募集期間ですが、第一次募集ということで、5月9日(木)から始まりまして、6月14日(金)で終了しています。

募集方法ですが、市役所を含む公共施設にチラシを配布しています。チラシの下の方にQRコードが載ってまして、つくば未来塾のホームページにアクセスできるつくりになっています。また、直接ホームページにアクセスしていただく方や広報誌を見てお知りになる方もいます。チラシの方をリニューアルしたこともありまして、多くの方に御応募いただいております。

また、応募方法ですが、ホームページ上の申し込みフォームからお申込みいただいております。また、デジタルが苦手な方には、紙媒体の申込用紙に御記入いただき、生涯学習推進課に御提出いただくことで申し込みの受付をさせていただきます。6月15日現在で168名の学習チューターの御応募がありました。昨年度と比べて、24名増えています。学習チューターの配置校の決定ですが、6月下旬を予定に進めているところです。その他として欠員補充等については、必要に応じて、2次募集を行うこととなっております。

実施期間ですが、7月1日(月)から1月28日(火)までということで、進めております。年間を通じてつくば未来塾を実施している学校や長期休みを活用して、集中的に実施している学校など様々です。

事前オリエンテーションについてですが、先ほども御説明させていただきます

したが、学習チューターの心構え等についてお伝えさせていただいております。
7月5日（金）に実施する予定で動いております。

事業実施後の評価・検証方法ということで、つくば未来塾の実施が終了しましたらアンケートにお答えいただくのですが、生徒用、学習チューター用、教職員用とあります。生徒用のアンケートを御覧ください。今年度、アンケート項目の1番目と2番目を特に意識して作り変えてみました。1番目の「つくば未来塾」に参加することで、これまでわからなかった問題がわかるようになりましたか。ということと、「つくば未来塾」に参加したことで、学習習慣が身に付くきっかけになりましたか。ということで、目的のところにもありましたが、つまずきの解消、学習習慣の定着というところが数値としてわかるようにアンケートを作り変えてみました。以前のアンケートの内容としましては、「つくば未来塾」に参加する前よりも学力が身に付いたと思いますか。とか、これからは学習に進んで取り組もうという気持ちになりましたか。というような内容で答えづらい部分もあったかなと感じています。

つくば未来塾事業が終了しましたら、成果報告書ということで先生方に御提出していただくような形になっています。検証方法としましては、参加した生徒たちが自分のもってきた課題を解決できたか。あとは、つくば未来塾を通して、学習習慣の定着を身に付けるきっかけが生み出せたかということで、この二つについて検証していただければと考えております。オリエンテーションで学習チューターの方々にお集まりいただけますので、その際に、子どもたちがつまずき、課題をもってつくば未来塾に参加するので、それに対しての寄り添う指導をお願いしますということと、学習習慣の定着のきっかけとなるようなお話をしていただけるとありがたいということを伝えてきたいと思っています。

以上です。

中山座長：ただ今の件につきまして、委員の皆様から御意見・御質問がありま

したら、お願いします。

森田委員：募集状況が168名で昨年度より24名増えているのですが、昨年度は最終的には、171名集まったということですか。昨年度は、少なかったから二次募集をしたということよろしいですか。

(事務局) 飯島係長：はい。おっしゃるとおりです。昨年度募集締め切り時点ですと、144名でした。その後は、欠員補充等のため、二次募集をした結果、最終的には171名になったということです。

森田委員：今年が必要に応じて、募集されるということですかね。

(事務局) 飯島係長：はい。今後、チューターの方の配置を進めていく中で、過不足によって募集を行うこともあるかもしれません。

森田委員：もう一つよろしいでしょうか。この計画は、各学校の希望から出されている計画ということよろしいでしょうか。つまり、学校としては、これだけやってほしいというニーズがあるという裏返しなのではないでしょうか。

(事務局) 飯島係長：後ほど御説明させていただくのですが、市の方からもこれだけの時間数をやっていただくようにという依頼はさせていただいているところです。その結果として、この日程でお願いしますということ各学校から報告があがってくるような形です。

茂在副座長：質問という訳ではないのですが、前の実績報告書にも書かれているのですが、この後、つくば未来塾の希望をうちの学校では取るわけなのではないかと、実際、この事業を学校で動かしていくのは教務主任なので、ねらいとかその辺を教務主任が理解していないと良い形になっていかないと思います。生徒自身がわからないところを事前に整理して臨むとかそういったところがこのアンケートの結果にも大きく影響するかと思いますので、できれば資料にも書いてありますけれども、教務主任会の際につくば未来塾の主旨を説明して、好事例というか学習チューターに質問することとか、一人一台学習者用端末もあるので、チャレンジングスタディを活用することとか、そういった事例

を共有することが大切ですよね。こういった思いがしっかり事業を実際に動かす先生に届いていないと良くないと思うので、こういった趣旨で、こういった好事例がありますとか、そのためにはこのような準備をしておくの良いですか上手く周知できるように指導していただけるとありがたいです。良い取組なので、ぜひ充実した事業にしていただければと思います。

森田委員：もう一つよろしいですか。先ほど、一人あたり何回つくば未来塾を利用していますか。といった質問をさせていただいたのですが、まさにその部分で、学習習慣のところも一つの目的としているとのことでしたので、7月の午前中、学習する時間に来ましたよという人がいたら良いなと想像していたのですよね。夏休みの午前中は、とりあえずつくば未来塾に行って学習しますといったことを目的にされているのかなと思ったのです。しっかり目的が伝わっていることが大切ですよね。

岡野委員：今のお話の流れで、目的と学習習慣の形成のところですが、学校が工夫しているところかとは思いますが。先ほどの好事例と関連してくるところもあるかと思いますが、説明を学習チューターの方にされるときに、学習習慣のきっかけとなるような話というか、御自身のキャリアも話していただくということでもよろしいのですか。

(事務局) 村上社会教育主事：そうですね。昨年度、関わらせていただいて、筑波大生がこのようなことを言ってくださっていました。皆さんは、英単語を覚えるときに自分が何回書いたら覚えられるということを自分自身でわかっていますか。私は、13回英単語を書いたら覚えられるという自分の力を分かっています。そういったことが分かれば、私で言えば14回書く必要はなくなるかもしれないですね。ですとか、学習習慣が身に付かないと言っている生徒に対して、自分が学習を理解した部分を次の日の学習のスタートに復習という形でとりかかれば、自分が理解している学習内容だから、前向きに取り組むことができるかもしれないよ。などの声かけをしてきていました。

岡野委員がおっしゃるように、学習の仕方や学習チューターの方のキャリアについてのお話をさせていただくことも検討していきたいと思います。

岡野委員：中学校では、キャリア教育の視点で、卒業生をお呼びして、学習の仕方とか効果的な方法とか大学生の皆さんだと経験値も豊富ですし、御自身の経験からの失敗だったり、成功だったり、生徒のやる気につながるようなお話をしてもらうことが大切なのだろうなと感じました。そういったところが、学習チューターの方も御自身のキャリアから子どもたちに伝えられるというのは一つの大きなモチベーションになるのかもしれませんが。前提として、学習チューターの方々によって様々かとは思いますが、学校の計画の組み方もまた変わってくるのではないのでしょうか。最初は、生徒が一斉に参加して、このようなお話を聞いた上で生徒自身の判断でつくば未来塾に参加するとかするとさらに効果が上がるかなとお話を聞いていて思ったところです。

中山座長：その他に何かありますでしょうか。ないようでしたら、令和7年度以降のつくば未来塾事業について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 飯島係長：それでは、令和7年度以降のつくば未来塾事業について御説明をさせていただきます。資料を御覧ください。こちらは昨年度令和5年度のつくば未来塾事業について当初、計画された学習チューターの配置の計画に対して、各学校がどの程度の割合で実際に行うことができたのかという資料になります。こちらを御覧いただきますと、学習チューターの急なキャンセル等で配置ができなかったこともあったのですが、全体的には、98.8パーセントということで、ほぼ、計画どおりに配置をすることができました。この表の右から2番目のところですが、執行時間というところを御覧いただけると分かると思うのですが、このつくば未来塾事業に関しましては、各学校の学習チューターの配置時間を90時間ということで、現在、統一した形で設定しております。これは、予算措置の関係ですとか、また、各学校で差が生じないようにですとか、現在、行わせていただいているところです。ただ、学校によりましては、

この 90 時間の枠を超えて学習支援を行いたいという要望も一部から出ている状況です。今年度に関しましては、全校 90 時間実施するのですが、来年度以降、配置の基準を 90 時間以上、上限を 100 時間として、今まで以上に積極的に学習支援を行いたいという学校からの声に応える形をとっていきたいということを考えております。予算措置のこともありますので、来年度からの取組にしたいと考えておりますが、こうした方法で、運用を変更するにあたりまして、委員の皆様から御意見を頂戴できればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

中山座長：令和 7 年度の以降のつくば未来塾事業について説明がありましたが、委員の皆様から御提案等がありましたら、お願いします。

茂在副座長：確認だけさせていただきます。基本は 90 時間がラインで、各学校から要望があれば、プラス 10 時間して、100 時間を上限として認めることは可能ですということですね。

(事務局) 飯島係長：はい。そのようになります。

中山座長：森田委員、いかがですか。

森田委員：はい。実態にあったほうが良いのかなと思いますので、希望があれば希望があるということで良いのかなと思います。

中山座長：他にないようでしたら、本日の議事は終了させていただきたいと思っております。皆様、スムーズな進行に御協力いただきありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

(事務局) 瓜阪補佐：中山座長ありがとうございました。

最後に、「その他」として、第 2 回つくば未来塾運営会議の予定をお知らせいたします。第 2 回につきましては、令和 7 年 3 月上旬を予定しております。時間や会場など、詳細につきましては、期日が近づいたらお知らせいたします。

以上をもちまして、令和 6 年度第 1 回つくば未来塾運営会議を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。

令和6年度 第1回つくば未来塾運営会議 次第

日時：令和6年(2024年)6月18日(火)

午前10時30分～

会場：つくば市役所4階ミーティング室

- 1 開 会
- 2 主催者挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 委員及び職員紹介
- 5 座長及び副座長の選出
- 6 議 事
 - (1) つくば未来塾事業概要
 - (2) 令和5年度実績報告
 - (3) 令和6年度事業計画
 - (4) 令和7年度以降のつくば未来塾事業
- 7 その他
- 8 閉 会

令和6年度 つくば未来塾運営会議 委員名簿

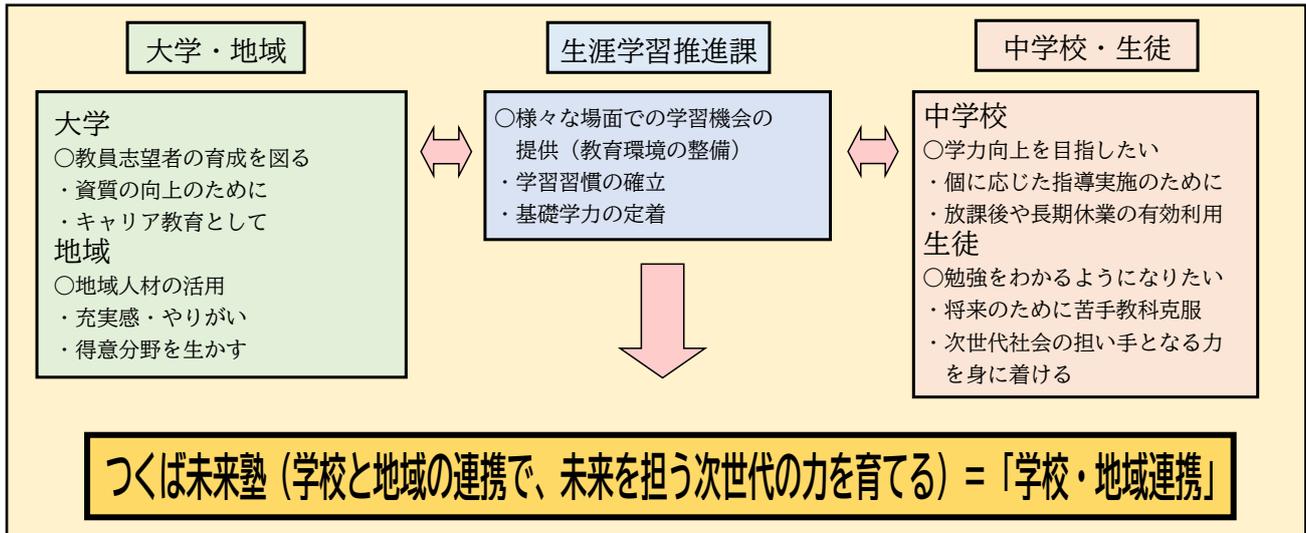
	区分	所属・役職等	氏名
1	(1) 学校教育関係の代表者	つくば市学校長会 副会長	茂在 哲司
2	(2) 保護者及び地域住民の代表者	つくば市PTA連絡協議会 会長	森田 修司
3	(3) 青少年育成団体等の代表者	青少年を育てるつくば市民の会 会長	中嶋 修
4	(3) 青少年育成団体等の代表者	つくば市青少年相談員連絡協議会 会長	中山 正巳
5	(4) 行政関係者	教育局学び推進課 課長	岡野 知樹

つくば未来塾事業概要

1 目的

つくば市内及び近隣地域の大学や地域の協力の下、参加する大学生、大学院生や社会人の方などを学習チューター（学習支援員）としてつくば市立全中学校及び義務教育学校（後期課程）に派遣し、学習指導・支援にあたることで、学習習慣の確立や基礎学力の定着を図るとともに、生徒の学習上のつまづきを解消し、学習意欲の向上を図る。

2 つくば未来塾概要図



3 対象

つくば市立中学校及び義務教育学校に通う、7年生から9年生までの生徒

4 学習チューター対象者

- (1) つくば市内及び近隣地域の大学生または大学院生（教育実習生を含む）
- (2) 地域住民（社会人等）

※謝礼 2,200 円／時間（交通費込み）。必要資格、年齢制限等はなし。

※実施に当たっての注意事項や心構えを説明する事前オリエンテーションを7月上旬に実施。

5 実施内容

各学校に派遣された学習チューターが、中学校・義務教育学校職員とともに、5教科（国・社・数・理・英）を中心に、学習の指導及び助言にあたる。

6 実施時期及び実施時間

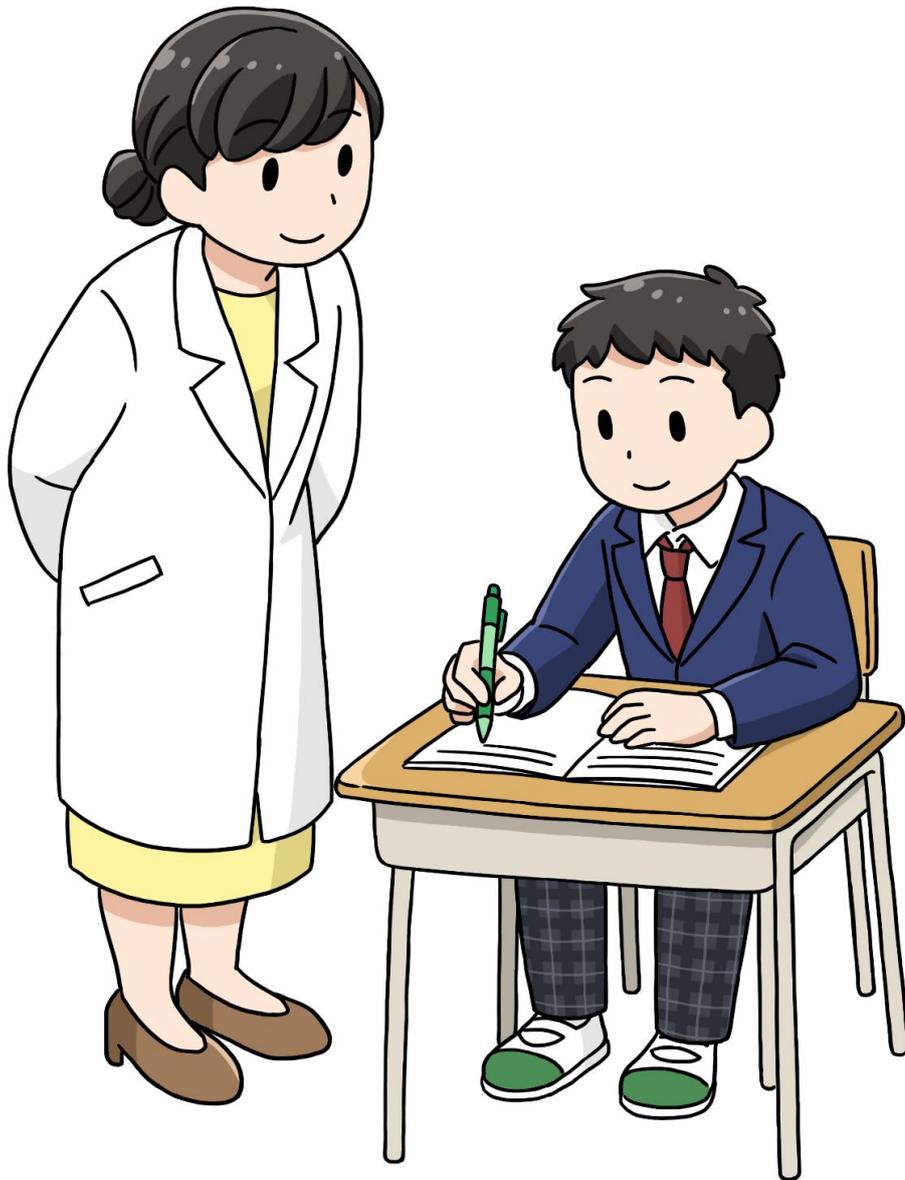
- (1) 夏季休業中に1日2～3時間程度
- (2) 7月及び9月～1月末までの平日放課後に1日1時間程度

※実施日、実施時間は学校により異なる。

概要版

令和5年度

つくば未来塾事業実績報告書



令和6年（2024年）6月18日（火）

つくば市教育局 生涯学習推進課

令和5年度つくば未来塾事業実績

1 実数と経年比較

		R5	R4	R3	R2	R1
0	実施延べ時間（時間）	1497.5	1380	906.5	885	1243
A	実施延べ日数（日）	194	161	123	137	212
B-1	全チューター協力延べ人数（人）	781	685	501	605	641
B-2	学生協力延べ人数（人）	344	295	272	348	-
B-3	筑波大生（筑波大院生） 延べ人数（人）	287	232	224	247	-
B-4	他大学生延べ人数（人）	57	63	48	101	-
B-5	一般協力延べ人数（人）	437	390	229	257	
C	参加生徒延べ人数（人）	9558	8926	8248	7099	11851
D	学習チューター登録数（人）	171	176	177	127	163
E	中学校・義務教育学校 在籍数（人）	6584	6608	6694	6398	5931

※チューター登録者（D）の内訳は、筑波大生63人、筑波大学院生16人、他大学生16人、一般76人

2 平均値と経年比較

		R5	R4	R3	R2	R1
学習	チューター一人あたりの活動日数	4.6	3.9	4.8	3.9	4.1
チューター	一日（回）あたりのチューター数	4.0	4.3	4.4	3.0	3.8
	チューター一人あたりの担当生徒数	12.2	13.0	11.7	18.5	20.4
生徒	生徒一人あたりの参加回数	1.5	1.4	1.1	2.0	2.3
	一日（回）あたりの参加生徒数	49.3	55.4	51.8	55.9	77.4

3 予算執行率

歳出

	当初予算額	3月補正予算額	決算額	予算執行率 (当初予算)	予算執行率 (3月補正後)
報償費	3,770,000	3,770,000	3,309,500	87.79%	87.79%
旅費	352,000	52,000	1,776	0.50%	3.42%
需用費	680,000	680,000	367,465	54.04%	54.04%
役務費	79,000	79,000	78,800	99.75%	99.75%
計	4,881,000	4,581,000	3,757,541	76.84%	81.87%

※報償費(学習チューター謝礼3,294,500+運営会議員謝礼15,000)

歳入

	交付決定額	交付確定額
国・県補助金	2,983,000	2,503,000

※本事業は、地域の教育支援体制等構築事業費補助金を活用して事業を実施している。

補助率は、補助対象経費の3分2（国、県1/3ずつ）。

一般会計からの歳出は、決算額から交付確定額を引いた1,254,541円。

1 「生徒の学習上のつまずきの解消」に関して

・学習チューターが生徒一人一人の学習課題に寄り添い、向き合うことで、学習上のつまずきを解消することができた。
 ・学習意欲が高く積極的な生徒は、事前に質問事項を整理し、学習チューターに質問をすることで学習上のつまずきを解決するための手立てとなっていた。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した割合

	質問項目	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生徒	参加する前よりも学力が身に付いたと思うか。	79.5%	77.6%	82.5%	78.0%	83.2%	81.3%
教職員	生徒の学力向上を図る上で「つくば未来塾」の実施は有効だと思うか。	83.3%	82.5%	88.1%	69.0%	81.4%	82.2%

2 「学習意欲の向上」に関して

・つくば未来塾に参加することから得られる様々な人との交流から、学習意欲が向上するきっかけが生まれている。
 ・学習チューターとの関わりの中で、わからない問題が「できた」「わかった」の瞬間があり、学習意欲の向上につながっていると推察することができる。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した割合

	質問項目	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生徒	集中して、又は、楽しく学習を進めることができたか。	81.5%	78.3%	90.1%	90.0%	90.8%	93.8%
	取り組んだ教科が以前よりも好きになったか。	72.5%	68.5%	70.1%	59.3%	69.9%	73.2%
	つくば未来塾に参加してよかったか。	80.5%	80.5%	87.4%	85.7%	90.2%	91.0%
	これからも学習に進んで取り組もうという気持ちになったか。	80.2%	77.5%	85.8%	84.7%	87.6%	85.5%
教職員	生徒は集中して、又は、楽しく学習に取り組んでいたか。	83.7%	85.2%	93.2%	81.8%	94.2%	90.4%
	参加した生徒は以前よりも意欲的に学習に取り組むようになったかと思うか。	74.4%	74.2%	75.6%	72.7%	80.1%	79.5%
	つくば未来塾を実施してよかったか。	78.3%	88.2%	90.9%	74.1%	83.3%	74.7%

3 「学校と地域の協働連携」に関して

・昨年度と同様に筑波大学教職ガイダンスの中で、「つくば未来塾」の事業について説明をさせていただき、筑波大学と連携して実施した。筑波大学関係の学習チューターは79名であり、本事業において大きな支えとなっている。今後も継続的に連携・協力をしていきたい。
 ・学習チューターのアンケートでは、各項目とも前向きな回答をいただいている。「生徒のために、ご自身の知識を伝えたい」と考えている方が多い。社会に開かれた教育課程の実現に向けて、今後も地域の人的資源の積極的な活用を進めていきたい。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した割合

	質問項目	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生徒	先生や学習チューターに教えてもらってよかったか。	82.2%	80.9%	90.5%	86.2%	86.0%	87.6%
教職員	学習チューターによる学習支援は、生徒にとって有効だったか。	89.9%	89.3%	88.6%	75.5%	94.9%	89.0%
学習チューター	生徒たちは集中して学習に取り組んでいたか。	95.8%	93.9%	94.2%	93.0%	97.7%	98.9%
	学習支援はご自身のキャリアアップにつながったか。	98.6%	96.1%	91.3%	86.7%	92.1%	91.6%
	学習支援を通じて生徒の喜ぶ姿に出会えたか。	93.4%	92.9%	92.8%	89.8%	97.2%	97.8%
	学習支援にやりがいを感じたか。	94.6%	92.8%	94.9%	90.6%	96.0%	98.9%
	今後もつくば市の事業において、協力していただけるか。	94.0%	93.4%	92.8%	93.8%	95.5%	100.0%

4 課題と対応

・各校の取組について、学校の担当者が情報交換をする場があるとよい。
 →5月の学校長会で学び推進課から実施方法について説明。また、今年度中に教務主任会で説明予定。
 ・大学生等、交通手段の関係で、参加できる学校が限られているチューターが多い。特に筑波地区、谷田部地区、荃崎地区、みどりの地区に車等で活動できるチューターの確保に課題がある。
 →チラシデザインを見直すとともに、チューターが不足する地区への積極的な応募を呼びかけ。
 ・事業目標についての評価項目の検討
 →アンケートの見直し（令和5年度第2回未来塾運営会議の意見を参考に、アンケートの質問項目を修正）

令和5年度つくば未来塾事業実績

1 実数と経年比較

		R5	R4	R3	R2	R1
0	実施延べ時間（時間）	1497.5	1380	906.5	885	1243
A	実施延べ日数（日）	194	161	123	137	212
B-1	全チューター協力延べ人数（人）	781	685	501	605	641
B-2	学生協力延べ人数（人）	344	295	272	348	-
B-3	筑波大生（筑波大院生） 延べ人数（人）	287	232	224	247	-
B-4	他大学生延べ人数（人）	57	63	48	101	-
B-5	一般協力延べ人数（人）	437	390	229	257	
C	参加生徒延べ人数（人）	9558	8926	8248	7099	11851
D	学習チューター登録数（人）	171	176	177	127	163
E	中学校・義務教育学校 在籍数（人）	6584	6608	6694	6398	5931

※チューター登録者（D）の内訳は、筑波大生63人、筑波大学院生16人、他大学生16人、一般76人

2 平均値と経年比較

		R5	R4	R3	R2	R1
学習	チューター一人あたりの活動日数	4.6	3.9	4.8	3.9	4.1
	チューター一日（回）あたりのチューター数	4.0	4.3	4.4	3.0	3.8
	チューター一人あたりの担当生徒数	12.2	13.0	11.7	18.5	20.4
生徒	生徒一人あたりの参加回数	1.5	1.4	1.1	2.0	2.3
	一日（回）あたりの参加生徒数	49.3	55.4	51.8	55.9	77.4

3 予算執行率

歳出

	当初予算額	3月補正予算額	決算額	予算執行率 (当初予算)	予算執行率 (3月補正後)
報償費	3,770,000	3,770,000	3,309,500	87.79%	87.79%
旅費	352,000	52,000	1,776	0.50%	3.42%
需用費	680,000	680,000	367,465	54.04%	54.04%
役務費	79,000	79,000	78,800	99.75%	99.75%
計	4,881,000	4,581,000	3,757,541	76.84%	81.87%

※報償費(学習チューター謝礼3,294,500+運営会議員謝礼15,000)

歳入

	交付決定額	交付確定額
国・県補助金	2,983,000	2,503,000

※本事業は、地域の教育支援体制等構築事業費補助金を活用して事業を実施している。

補助率は、補助対象経費の3分2（国、県1/3ずつ）。

一般会計からの歳出は、決算額から交付確定額を引いた1,254,541円。

1 「生徒の学習上のつまずきの解消」に関して

・学習チューターが生徒一人一人の学習課題に寄り添い、向き合うことで、学習上のつまずきを解消することができた。
 ・学習意欲が高く積極的な生徒は、事前に質問事項を整理し、学習チューターに質問をすることで学習上のつまずきを解決するための手立てとなっていた。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した割合

	質問項目	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生徒	参加する前よりも学力が身に付いたと思うか。	79.5%	77.6%	82.5%	78.0%	83.2%	81.3%
教職員	生徒の学力向上を図る上で「つくば未来塾」の実施は有効だと思うか。	83.3%	82.5%	88.1%	69.0%	81.4%	82.2%

2 「学習意欲の向上」に関して

・つくば未来塾に参加することから得られる様々な人との交流から、学習意欲が向上するきっかけが生まれている。
 ・学習チューターとの関わりの中で、わからない問題が「できた」「わかった」の瞬間があり、学習意欲の向上につながっていると推察することができる。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した割合

	質問項目	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生徒	集中して、又は、楽しく学習を進めることができたか。	81.5%	78.3%	90.1%	90.0%	90.8%	93.8%
	取り組んだ教科が以前よりも好きになったか。	72.5%	68.5%	70.1%	59.3%	69.9%	73.2%
	つくば未来塾に参加してよかったか。	80.5%	80.5%	87.4%	85.7%	90.2%	91.0%
	これからも学習に進んで取り組もうという気持ちになったか。	80.2%	77.5%	85.8%	84.7%	87.6%	85.5%
教職員	生徒は集中して、又は、楽しく学習に取り組んでいたか。	83.7%	85.2%	93.2%	81.8%	94.2%	90.4%
	参加した生徒は以前よりも意欲的に学習に取り組むようになったかと思うか。	74.4%	74.2%	75.6%	72.7%	80.1%	79.5%
	つくば未来塾を実施してよかったか。	78.3%	88.2%	90.9%	74.1%	83.3%	74.7%

3 「学校と地域の協働連携」に関して

・昨年度と同様に筑波大学教職ガイダンスの中で、「つくば未来塾」の事業について説明をさせていただき、筑波大学と連携して実施した。筑波大学関係の学習チューターは79名であり、本事業において大きな支えとなっている。今後も継続的に連携・協力をしていきたい。
 ・学習チューターのアンケートでは、各項目とも前向きな回答をいただいている。「生徒のために、ご自身の知識を伝えたい」と考えている方が多い。社会に開かれた教育課程の実現に向けて、今後も地域の人的資源の積極的な活用を進めていきたい。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」と回答した割合

	質問項目	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
生徒	先生や学習チューターに教えてもらってよかったか。	82.2%	80.9%	90.5%	86.2%	86.0%	87.6%
教職員	学習チューターによる学習支援は、生徒にとって有効だったか。	89.9%	89.3%	88.6%	75.5%	94.9%	89.0%
学習チューター	生徒たちは集中して学習に取り組んでいたか。	95.8%	93.9%	94.2%	93.0%	97.7%	98.9%
	学習支援はご自身のキャリアアップにつながったか。	98.6%	96.1%	91.3%	86.7%	92.1%	91.6%
	学習支援を通じて生徒の喜ぶ姿に出会えたか。	93.4%	92.9%	92.8%	89.8%	97.2%	97.8%
	学習支援にやりがいを感じたか。	94.6%	92.8%	94.9%	90.6%	96.0%	98.9%
	今後もつくば市の事業において、協力していただけるか。	94.0%	93.4%	92.8%	93.8%	95.5%	100.0%

4 課題と対応

・各校の取組について、学校の担当者が情報交換をする場があるとよい。
 →5月の学校長会で学び推進課から実施方法について説明。また、今年度中に教務主任会で説明予定。
 ・大学生等、交通手段の関係で、参加できる学校が限られているチューターが多い。特に筑波地区、谷田部地区、荳崎地区、みどりの地区に車等で活動できるチューターの確保に課題がある。
 →チラシデザインを見直すとともに、チューターが不足する地区への積極的な応募を呼びかけ。
 ・事業目標についての評価項目の検討
 →アンケートの見直し（令和5年度第2回未来塾運営会議の意見を参考に、アンケートの質問項目を修正）

令和6年度つくば未来塾 事業計画

1 予算措置

(1) 歳出

科目	今年度当初予算額	昨年度当初予算額
報償費	4,386,000	3,770,000
旅費	2,000	352,000
需用費	720,000	680,000
役務費	79,000	79,000
合計	5,187,000	4,881,000

(2) 歳入

○地域の教育支援体制等構築事業費補助金（国及び県）

令和6年度県内示額：2,870,000円

令和5年度交付確定額：2,503,000円

2 学習チューター募集概要

- (1) 募集期間：5月9日（木）から6月14日（金）まで
- (2) 募集方法：市役所含む公共施設36か所に別添チラシを配布の上、ホームページ、広報紙で周知
- (3) 応募方法：つくば市ホームページ上の申込フォームで応募若しくは別添個人登録票を生涯学習推進課まで持参又は郵送
- (4) 募集状況：6月14日現在で、168名の学習チューターが応募（昨年度比24名増）
- (5) 配置校の決定・周知：6月下旬
- (6) その他：欠員補充等のため、必要に応じて2次募集を実施

3 実施期間

7月1日（月）から1月28日（火）まで（別添：2024年度 つくば未来塾事業実施計画を参照）※各学校から提出された実施計画を基に作成

4 事前オリエンテーション

学習チューターとしての心構え等を周知するため、事前オリエンテーションを開催予定

- (1) 開催期日・会場：7月5日（金） 筑波大学

(2) 対象：学習チューターとして配置校が決定した方

(3) 周知内容：

- つくば未来塾の概要
- 実施の流れ及び留意事項
- 当日の持参物等
- 学習チューターの心構え等（当日の頭髪・服装等、注意すべき言動、個人情報漏えい防止、欠席する場合の連絡等、注意事項全般）
- 傷害保険について 等

5 事業実施後の評価・検証方法

以下の方法により、事業の効果を検証し、今後の事業運営にフィードバックさせる。

- (1) アンケート（生徒、学習チューター、教職員）
- (2) 担当教員の成果報告書（検証方法、検証結果と成果、今後の課題）
→令和6年度第2回つくば未来塾運営会議で報告予定

中学生の「学び」を 支援しませんか！



つくば未来塾学習 チューター募集

※申込状況によって、2次募集を行う場合があります。

申込受付期間

令和6年5月9日（木）～6月14日（金）必着

令和5年度は164名の学習チューターが活動しました

※一部アンケートからコメント抜粋



生徒

勉強以外の話も
できて楽しかった



学習チューター

教えることの楽しさ
を知ることができた



先生

生徒のやる気を
起こさせる企画だと思う

「つくば未来塾
学習チューター」とは？

生徒の学力向上及び学習習慣の定着を目的として、つくば市内に18校ある市立中学校等の1～3年生を対象に、5教科（国・社・数・理・英）の問題の解き方や考え方等についてアドバイスをします。

※申込みの手引については裏面参照

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

問合せ
・
申込先

つくば市教育局生涯学習推進課
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL:029-883-1111(代)内線4523 8:45～16:30
MAIL:edc077@city.tsukuba.lg.jp



つくば未来塾 学習チューター 申込みの手引

応募資格

- 教えることに興味がある方、または学習支援に興味がある大学生や大学院生の方
 - 地域の中学生に熱意を持って学習支援ができる一般の方
 - 中学生を教えるにあたって、服装や言動等がふさわしい方
- ※ 特に筑波地区、谷田部地区、荃崎地区、みどりの地区に車等で移動できる方、大歓迎!!

実施日程

- 夏季休業日 夏季休業開始日～8月31日(土)
 - 平日の放課後 9月～1月末まで(6～7月に実施する場合があります。)
 - 実施時間 1日1時間～3時間程度
- ※ 学校行事等の関係により、変更がある場合があります。
※ 派遣日程や配置校等については、申込時の希望に基づき決定します。
※ 夏季休業中に活動できない方も、募集しています。

実施内容

- 生徒の学力向上及び学習習慣の定着を目的として、つくば市内に18校ある市立中学校の1～3年生を対象に、5教科(国・社・数・理・英)の問題の解き方や考え方等についてアドバイスをします。
- ※ 具体的な教科や支援内容については、各学校で決定します。得意科目を生かしたい方は、申込時にお知らせください。

謝礼

- 1時間の活動につき、2,200円の謝礼(交通費込み)を支払います。謝礼額から3.063%の所得税を控除した上で、銀行口座に振り込みます。

その他

- 活動に際してのボランティア保険は、つくば市負担で加入します。
- 学習チューターの活動内容や心構えについて、7月上旬に事前オリエンテーションを実施する予定です。学習チューターとして初めて活動する方は、必ず御参加ください。
- 応募者が多数の場合、御希望に添えない場合もありますので御了承ください。また、申込状況によって2次募集を行う場合があります。

申込方法

インターネット申込みの場合

パンフレット表面の2次元バーコードを読み込むか、市ホームページで「つくば未来塾」を検索し、いばらき電子申請・届出サービスからお申込みください。

用紙に記入して申込みの場合

市ホームページからダウンロードするか、生涯学習推進課又は市内各交流センターで用紙をお受け取りください。必要事項を記入の上、生涯学習推進課に郵送または直接お届けください。

2024年度 つくば未来塾事業実施計画①

※感染症の流行や臨時休校等の影響により、変更がある場合があります。

大穂中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
7月23日	火	13:30 ~ 16:30	5	
7月24日	水	13:30 ~ 16:30	5	
7月25日	木	13:30 ~ 16:30	5	
7月26日	金	13:30 ~ 16:30	5	
7月29日	月	13:30 ~ 16:30	4	
1月22日	水	13:30 ~ 14:30	2	
1月23日	木	13:30 ~ 15:30	2	
1月24日	金	13:30 ~ 15:30	2	
1月27日	月	13:30 ~ 15:30	2	
1月28日	火	13:30 ~ 15:30	2	

豊里中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
7月22日	月	8:30 ~ 10:30	9	
7月23日	火	8:30 ~ 10:30	9	
7月24日	水	8:30 ~ 10:30	9	
7月25日	木	8:30 ~ 10:30	9	
7月26日	金	8:30 ~ 10:30	9	

手代木中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
7月1日	月	15:10 ~ 16:10	2	
7月8日	月	15:10 ~ 16:10	2	
7月25日	木	10:00 ~ 12:00	2	
7月26日	金	10:00 ~ 12:00	2	
8月26日	月	10:00 ~ 12:00	3	
8月27日	火	10:00 ~ 12:00	3	
8月28日	水	10:00 ~ 12:00	3	
8月29日	木	10:00 ~ 12:00	3	
8月30日	金	10:00 ~ 12:00	3	
9月2日	月	15:10 ~ 16:10	4	
9月3日	火	16:10 ~ 17:10	4	
11月11日	月	15:10 ~ 16:10	2	
11月18日	月	15:10 ~ 16:10	2	
11月25日	月	15:10 ~ 16:10	2	
11月29日	金	16:10 ~ 17:10	4	
12月2日	月	15:10 ~ 16:10	4	
12月3日	火	16:10 ~ 17:10	4	
12月4日	水	16:10 ~ 17:10	4	
12月5日	木	16:00 ~ 17:00	4	
12月9日	月	15:10 ~ 16:10	2	
12月16日	月	15:10 ~ 16:10	2	
1月14日	火	16:10 ~ 17:10	3	
1月15日	水	16:10 ~ 17:10	3	
1月20日	月	15:10 ~ 16:10	2	
1月27日	月	15:10 ~ 16:10	2	

谷田部東中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
8月20日	火	8:30 ~ 11:30	6	
8月22日	木	8:30 ~ 11:30	6	
8月23日	金	8:30 ~ 11:30	6	
9月2日	月	15:20 ~ 16:20	3	
9月9日	月	15:20 ~ 16:20	3	
9月30日	月	15:20 ~ 16:20	3	
10月7日	月	15:20 ~ 16:20	3	
10月21日	月	15:20 ~ 16:20	3	
10月28日	月	15:20 ~ 16:20	3	
11月11日	月	15:20 ~ 16:20	3	
11月18日	月	15:20 ~ 16:20	3	
11月25日	月	15:20 ~ 16:20	3	
12月2日	月	15:20 ~ 16:20	3	
12月9日	月	15:20 ~ 16:20	3	
12月16日	月	15:20 ~ 16:20	3	

桜中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
10月3日	木	15:30 ~ 16:30	11	
10月17日	木	15:30 ~ 16:30	11	
10月31日	木	15:30 ~ 16:30	11	
11月28日	木	15:30 ~ 16:30	12	
11月29日	金	15:30 ~ 16:30	12	
12月5日	木	15:30 ~ 16:30	11	
12月19日	木	15:30 ~ 16:30	11	
1月15日	水	15:30 ~ 16:30	11	

2024年度 つくば未来塾事業実施計画②

谷田部中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
9月2日	月	14:30 ~ 15:30	3	
9月3日	火	15:30 ~ 16:30	3	
9月18日	水	14:30 ~ 15:30	2	
9月19日	木	14:30 ~ 15:30	2	
9月20日	金	14:30 ~ 15:30	2	
11月14日	木	14:00 ~ 16:00	3	
11月15日	金	14:00 ~ 16:00	3	
11月18日	月	14:00 ~ 16:00	3	
11月19日	火	14:00 ~ 16:00	3	
11月20日	水	14:00 ~ 16:00	3	
11月21日	木	14:00 ~ 16:00	3	
11月22日	金	14:00 ~ 16:00	3	
12月3日	火	15:30 ~ 16:30	2	
12月4日	水	15:30 ~ 16:30	2	
1月15日	水	15:30 ~ 16:30	2	
1月16日	木	15:30 ~ 16:30	2	
1月21日	火	14:00 ~ 16:00	3	
1月22日	水	14:00 ~ 16:00	3	
1月23日	木	14:00 ~ 16:00	3	
1月24日	金	14:00 ~ 16:00	3	
1月27日	月	14:00 ~ 16:00	2	

研究学園中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
7月22日	月	9:30 ~ 12:30	4	
7月23日	火	9:30 ~ 12:30	4	
7月24日	水	9:30 ~ 12:30	4	
7月25日	木	9:30 ~ 12:30	4	
7月26日	金	9:30 ~ 12:30	4	
8月26日	月	9:30 ~ 11:30	3	
8月27日	火	9:30 ~ 11:30	3	
8月28日	水	9:30 ~ 11:30	3	
8月29日	木	9:30 ~ 11:30	3	
8月30日	金	9:30 ~ 11:30	3	

竹園東中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
7月23日	火	9:00 ~ 12:00	6	
7月24日	水	9:00 ~ 12:00	6	
7月25日	木	9:00 ~ 12:00	6	
7月26日	金	9:00 ~ 12:00	6	
7月29日	月	9:00 ~ 12:00	6	

高山中学校				
月 日	曜日	時間帯	募集人数	
8月20日	火	9:00 ~ 12:00	8	
8月22日	木	9:00 ~ 12:00	8	
8月23日	金	9:00 ~ 12:00	8	
11月14日	木	15:00 ~ 16:00	4	
11月18日	月	14:30 ~ 15:30	5	
12月9日	月	14:30 ~ 15:30	5	
12月16日	月	14:30 ~ 15:30	4	

2024年度 つくば未来塾事業実施計画③

並木中学校			
月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	9:00 ~ 11:00	6
7月23日	火	9:00 ~ 11:00	6
7月24日	水	9:00 ~ 11:00	7
9月11日	水	16:00 ~ 17:00	4
9月26日	木	16:00 ~ 17:00	4
10月2日	水	16:00 ~ 17:00	4
10月10日	木	16:00 ~ 17:00	4
10月16日	水	16:00 ~ 17:00	4
11月6日	水	16:00 ~ 17:00	4
11月21日	木	16:00 ~ 17:00	4
11月27日	水	16:00 ~ 17:00	4
12月4日	水	16:00 ~ 17:00	4
12月11日	水	16:00 ~ 17:00	4
12月19日	木	16:00 ~ 17:00	4
1月9日	木	16:00 ~ 17:00	4
1月15日	水	16:00 ~ 17:00	4

吾妻中学校			
月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	8:30 ~ 10:30	6
7月23日	火	8:30 ~ 10:30	6
7月24日	水	8:30 ~ 10:30	6
7月25日	木	8:30 ~ 10:30	6
7月26日	金	8:30 ~ 10:30	6
8月28日	水	8:30 ~ 10:30	6
8月29日	木	8:30 ~ 11:30	6

秀峰筑波義務教育学校			
月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	9:00 ~ 12:00	6
7月23日	火	9:00 ~ 12:00	6
7月24日	水	9:00 ~ 12:00	6
7月25日	木	9:00 ~ 12:00	6
7月26日	金	9:00 ~ 12:00	6

春日学園義務教育学校			
月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	8:30 ~ 9:30	12
7月22日	月	9:40 ~ 10:40	12
7月23日	火	8:30 ~ 9:30	11
7月23日	火	9:40 ~ 10:40	11
7月24日	水	8:30 ~ 9:30	11
7月24日	水	9:40 ~ 10:40	11
7月25日	木	8:30 ~ 9:30	11
7月25日	木	9:40 ~ 10:40	11

学園の森義務教育学校			
月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	8:30 ~ 11:30	2
7月23日	火	8:30 ~ 11:30	2
7月24日	水	8:30 ~ 11:30	2
7月25日	木	8:30 ~ 11:30	2
7月26日	金	8:30 ~ 11:30	2
11月8日	金	13:30 ~ 16:30	2
11月11日	月	13:30 ~ 16:30	2
11月12日	火	13:30 ~ 16:30	2
11月14日	木	13:30 ~ 16:30	2
11月15日	金	13:30 ~ 16:30	2
1月20日	月	13:30 ~ 16:30	2
1月21日	火	13:30 ~ 16:30	2
1月22日	水	13:30 ~ 16:30	2
1月23日	木	13:30 ~ 16:30	2
1月24日	金	13:30 ~ 16:30	2

2024年度 つくば未来塾事業実施計画④

茎崎中学校

月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	9:30 ~ 11:30	9
7月23日	火	9:30 ~ 11:30	9
7月24日	水	9:30 ~ 11:30	9
7月25日	木	9:30 ~ 11:30	9
7月26日	金	9:30 ~ 11:30	9

みどりの南中学校

月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	9:00 ~ 11:00	4
7月23日	火	9:00 ~ 11:00	4
7月24日	水	9:00 ~ 11:00	4
8月28日	水	9:00 ~ 11:00	4
8月29日	木	9:00 ~ 11:00	4
11月11日	月	13:45 ~ 15:45	4
11月14日	木	13:45 ~ 15:45	4

高崎中学校

月 日	曜日	時間帯	募集人数
8月23日	金	8:30 ~ 11:30	6
8月26日	月	8:30 ~ 11:30	6
8月27日	火	8:30 ~ 11:30	6
8月28日	水	8:30 ~ 11:30	6
8月29日	木	8:30 ~ 11:30	6

みどりの学園義務教育学校

月 日	曜日	時間帯	募集人数
7月22日	月	9:00 ~ 11:00	7
7月23日	火	9:00 ~ 11:00	7
7月24日	水	9:00 ~ 11:00	7
8月28日	水	9:00 ~ 11:00	6
8月29日	木	9:00 ~ 11:00	6
11月11日	月	13:45 ~ 15:45	6
11月14日	木	13:45 ~ 15:45	6

実施希望校一覧表

- 1 実施予定日・時間帯欄（網掛け欄）には，希望する学校の予定（別紙「各校の実施予定日と時間帯」）を参照し，その中から希望する日と時間帯をすべて記入してください。
- 2 活動が可能な日及び時間帯に○をつけてください。

氏名： _____

第1希望校（つくば市立 _____ 学校）

時 間 帯	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

第2希望校（つくば市立 _____ 学校）

時 間 帯	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

第3希望校（つくば市立 _____ 学校）

時 間 帯	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

【記入例】

第〇希望校（つくば市立〇〇学校）

時 間 帯	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	11/14	11/15	/	/	/
9:00～ 9:50	○		○	○	○					
10:00～10:50	○	○		○	○					
11:00～11:50	○	○		○						
16:10～17:10						○	○			

「つくば未来塾」実施アンケート（生徒用）

※当てはまる番号（1～4）のいずれかを、○で囲んでください。
各番号の意味は下に書いてある通りです。

- 1…「当てはまる」
- 2…「どちらかという当てはまる」
- 3…「どちらかという当てはまらない」
- 4…「当てはまらない」

1 「つくば未来塾」に参加することで、これまでわからなかった問題がわかるようになりましたか。

1 2 3 4

2 「つくば未来塾」に参加したことで、学習習慣が身に付くきっかけになりましたか。

1 2 3 4

3 集中して意欲的に学習を進めることができましたか。

1 2 3 4

4 学習チューターに勉強を教えてもらう時間は楽しかったですか。

1 2 3 4

5 「つくば未来塾」で取り組んだ教科が以前よりも好きになりましたか。

1 2 3 4

6 今後も「つくば未来塾」のように学校以外の方（地域の方や大学生）に教えてもらう機会があると良いですか。

1 2 3 4

7 学習チューター（教室で学習サポートをしてくれた方）の印象を書いてください。

8 「つくば未来塾」に参加してよかったですか。

1 2 3 4

8で回答した、理由を記入してください。

9 「つくば未来塾」に参加しての感想を自由に書いてください。

【様式4-1②】

「つくば未来塾」実施アンケート（学習チューター用）

※当てはまる番号（1～4）のいずれかを、○で囲んでください。
各番号の意味は下記の通りです。

- 1…「当てはまる」
- 2…「どちらかという当てはまる」
- 3…「どちらかという当てはまらない」
- 4…「当てはまらない」

- 1 学習支援を通じて、生徒の学習のつまづきを解消できたと思いますか。
1 2 3 4
- 2 学習支援を通じて、生徒の学習習慣が身に付くきっかけを与えることができたと思いますか。
1 2 3 4
- 3 生徒たちは集中して意欲的に学習に取り組んでいましたか。
1 2 3 4
- 4 今回の学習支援は、ご自身の学びや成長につながりましたか。
1 2 3 4
- 5 学習支援を通じて、生徒と楽しく交流できましたか。
1 2 3 4
- 6 今後もつくば市の事業において御協力をいただけますか。
1 2 3 4
- 7 「つくば未来塾」に参加してよかったですか。
1 2 3 4

7で回答した、理由を記入してください。

- 8 今回の「つくば未来塾」で学習支援を行った感想を自由にお書きください。

御協力ありがとうございました。

【様式4-1③】

「つくば未来塾」実施アンケート（教職員用）

※当てはまる番号（1～4）のいずれかを、○で囲んでください。
各番号の意味は下記の通りです。

- 1…「当てはまる」
- 2…「どちらかという当てはまる」
- 3…「どちらかという当てはまらない」
- 4…「当てはまらない」

- 1 「つくば未来塾」に参加したことで、生徒は学習上のつまずきが解消できたり、学習習慣の定着につながったりといった成果を感じますか。

1 2 3 4

1で回答した、具体的な理由を記入してください。

（例）「つくば未来塾」での参加を通して数学の基礎的な問題を理解することができた等

- 2 「つくば未来塾」のように学校以外の方（地域の方や大学生）に教えてもらう機会は有効だと思いますか。

1 2 3 4

- 3 参加した学習チューターの印象をお書きください。

- 4 「つくば未来塾」を実施してよかったと思いますか。

1 2 3 4

4で回答した、理由を記入してください。

- 5 今後の課題（次年度以降、本事業を実施する際の改善点等）について御記入ください。

（例）学習につまずきを感じている生徒が、未来塾に参加できていない状況がある。
→課題や提出物を学習チューターの方に手伝ってもらうなど、生徒の困り感に寄り添いながら未来塾事業を活用する等

御協力ありがとうございました。

【様式6】 成果報告書

令和6年度つくば未来塾事業による成果の検証

つくば市立〇〇〇学校

1 検証の方法（「学力向上及びつまずき解消と学習習慣の定着」の観点から）

- (1) 対象：
- (2) 検証する教科：
- (3) 検証方法：

2 検証結果と成果について

3 今後の課題（次年度に向け、本事業を実施する上で改善したいこと等）

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※各校の形式を使用してもよいが、標題は変更しないこと。

※報告はA4版1ページ以内とする。

【参考資料】令和5年度 つくば未来塾事業執行率

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	派遣定時 数90時 間増減	執行時 間	執行率
桜中	実施時間数			60				10		20		90	0	90	100.0%
	学習チューター			23				5		10		38			
	参加生徒			378				194		261		833			
竹園東中	実施時間数			90								90	0	90	100.0%
	学習チューター			88.5								88.5			
	参加生徒			335								335			
並木中	実施時間数			37		8	8	16	9	6		84	-6	84	93.3%
	学習チューター			18		8	8	16	9	6		65			
	参加生徒			97		40	33	55	62	35		322			
谷田部中	実施時間数						8	42	5	34		89	-1	89	98.9%
	学習チューター						8	21	5	19		53			
	参加生徒						62	411	123	306		902			
高山中	実施時間数					90						90	0	90	100.0%
	学習チューター					30						30			
	参加生徒					440						440			
手代木中	実施時間数		2	20	24			19	7	18		90	0	90	100.0%
	学習チューター		2	10	12			19	7	18		68			
	参加生徒		28	267	270			328	58	68		1019			
豊里中	実施時間数			90								90	0	90	100.0%
	学習チューター			30								30			
	参加生徒			1218								1218			
大穂中	実施時間数			72						17		89	-1	89	98.9%
	学習チューター			24						9		33			
	参加生徒			339						40		379			
谷田部東中	実施時間数				81				7	2		90	0	90	100.0%
	学習チューター				9				7	2		18			
	参加生徒				255				62	36		353			
吾妻中	実施時間数			50				38				88	-2	88	97.8%
	学習チューター			25				19				44			
	参加生徒			215				72				287			
茎崎中	実施時間数			60				30				90	0	90	100.0%
	学習チューター			30				15				45			
	参加生徒			246				64				310			
高崎中	実施時間数			87								87	-3	87	96.7%
	学習チューター			18								18			
	参加生徒			61								61			
研究学園中	実施時間数			30			20	20	20			90	0	90	100.0%
	学習チューター			30			20	20	20			90			
	参加生徒			135			120	130	130			515			
春日義務	実施時間数			74			12					86	-4	86	95.6%
	学習チューター			37			12					49			
	参加生徒			103			50					153			
秀峰筑波	実施時間数			90								90	0	90	100.0%
	学習チューター			30								30			
	参加生徒			180								180			
学園の森	実施時間数			30				30		30		90	0	90	100.0%
	学習チューター			10				10		10		30			
	参加生徒			299				360		280		939			
みどりの学園	実施時間数			74					14			88	-2	88	97.8%
	学習チューター			37					14			51			
	参加生徒			1223					89			1312			
実施時数計	時間		2	864	105	98	48	205	62	127		1511			
参加学習チューター計	人		2	410.5	21	38	48	125	62	74		780.5			98.8%
参加生徒計	人		28	5096	525	480	265	1614	524	1026		9558	-19	-19	

令和6年度つくば未来塾運営会議開催要項

(開催)

第1条 教育長は、生徒の学力向上及び学習習慣の定着を目的としたつくば未来塾事業（以下「事業」という。）を円滑に推進するため、つくば未来塾運営会議（以下「運営会議」という。）を開催する。

(構成)

第2条 運営会議は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱した10名以内で構成する。

- (1) 学校教育関係の代表者
- (2) 保護者及び地域住民の代表者
- (3) 青少年育成団体等の代表者
- (4) 行政関係者

(任期)

第3条 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合は補欠者を委嘱し、その任期は前任者の残任期間とする。

(検討事項等)

第4条 運営会議においては、次の事項について検討する。

- (1) 事業の企画・運営に関する諸問題
- (2) 事業全体に関する検証・評価
- (3) 学校と地域の協働連携の在り方

(座長等)

第5条 運営会議に座長1名及び副座長1名を置く。

2 座長及び副座長は、委員の互選により定める。

3 座長は運営会議を統括する。座長に事故があるとき、又は欠けたときは副座長がその職務を代理する。

(開催回数)

第6条 運営会議の開催は年度内に2回とする。ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。

2 会議は教育長が招集し、座長が議長となる。

(庶務)

第7条 運営会議に係る庶務は、教育局生涯学習推進課において行う。

(謝礼)

第8条 市は、運営会議の開催に当たり、第2条第2号及び第3号に該当する委員に対し、謝礼金として1回につき3,000円を支払う。

(旅費)

第9条 市は、運営会議を開催する場合、第2条第1号に該当する委員に対し、市の規定に基づき旅費を支払う。

(補則)

第10条 この要項に定めるもののほか、運営会議の運営に関し必要な事項は座長が運営会議に諮って定める。

附 則

この要項は、令和6年6月1日から施行する。

会 議 録

会議の名称		令和6年度 第2回つくば未来塾運営会議		
開催日時		令和7年(2025年)3月17日(月) 開会14時00分 閉会15時20分		
開催場所		つくば市役所5階 501会議室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	中山正巳(座長)、茂在哲司(副座長)、森田修司 中嶋 修、岡野知樹		
	その他	なし		
	事務局	課長 澤頭由紀子、参事 山口健次 課長補佐 瓜阪恵理名、係長 飯島 遊 社会教育主事 村上和宏		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	なし
非公開の場合はその理由				
議題		<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度つくば未来塾事業実績報告 ・ 課題を踏まえた令和7年度の取組について 		
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 主催者挨拶 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度つくば未来塾事業実績報告 (2) 課題を踏まえた令和7年度の取組について 4 その他 5 閉会 			

<審議内容>

事務局（瓜阪補佐）：本日はお忙しい中、つくば未来塾運営会議に御参加いただきまして、ありがとうございます。ただいまより、令和6年度第2回つくば未来塾運営会議を開催いたします。

この会議に関しましては、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例第三条に基づきまして公開とします。会議録については、後日、つくば市ホームページに掲載します。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

初めに、つくば市教育局生涯学習推進課長澤頭から挨拶を申し上げます。

事務局（澤頭課長）：皆様、こんにちは。生涯学習推進課課長の澤頭です。つくば未来塾運営会議委員の皆様におかれましては、御多用の中、当会議に御出席いただきまして誠にありがとうございます。

今年度のつくば未来塾事業でございますが、第1回目の運営会議の場で委員の皆様からいただいた様々な御意見を参考にさせていただきまして事業の改善を図ってまいりました。また事業を実施した学校からいただいた報告を分析することで、少しずつではございますが、より効果的、効率的な事業運営の道筋が見えてきたと感じています。さらに募集に関してでございますが、学習支援に熱意がある人材、これをより幅広く募集するというのが課題でございますので、学習チューター募集のチラシのデザインを一新し、各施設へ配布を行いました。その結果、学習チューターが不足していました一部地域がございましたが、そのチューターの確保に一定の効果があったと感じております。

一方で、まだ課題として残されているものもございます。例えば、初めて顔を合わせる生徒に積極的に声かけできない学習チューターがいる、また、学習チューターだけでは未来塾の対応を任せることができず、結果、教職員も指導に参加していただいている、といった事例が報告されております。今後は、学校と地域の信頼関係を構築することは重要だと考えております。特に現在市が

導入を進めています、コミュニティ・スクールと連携することで、地域人材の確保につなげていくことができれば、地域と学校の連携が確かなものになっているのではないかと感じております。本日は、今年度のつくば未来塾事業実績と来年度に向けての取り組みに関しまして、委員の皆様には忌憚のない御意見や御助言をいただければと思っております。以上、お願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

事務局（瓜阪補佐）：それではここからの議事進行につきましては、中山座長にお願いいたします。中山座長よろしくお願いいたします。

中山座長：はい。それでは座長の方、暫時務めさせていただきます。本日の議事ですが、令和6年度つくば未来塾事業実績報告、2番項としまして、課題を踏まえた7年度の実績について。まず1番、令和6年度つくば未来塾事業報告を事務局からお願いします。

事務局（飯島係長）：生涯学習推進課の飯島です。まず、私の方から、令和6年度つくば未来塾事業実績報告の御説明をさせていただきます。お配りしました、左上ホチキスとめのA4の資料に基づいて、説明をさせていただきますと思います。

まず1ページ目になりますが、令和6年度の実績といたしまして、経年の比較による表がございます。まず1番目といたしまして、実数と経年比較ということで、実施回数、実施時間を集計しております。一番上の実施延べ回数につきましては、令和6年度は219回、実施延べ時間に関しましては、379時間と、こちらは例年よりも高い水準の数字となっております。

2番目といたしまして学習チューター関連になります。項目上から順に、学習チューターの延べ配置時間に関しましては、こちらは令和6年度は1,550時間でした。また、協力いただいた延べ人数としては、852名となっております。この内訳に関しましては、学生の協力延べ人数が400名。筑波大学生、大学院生を合わせた人数が315名。それ以外の大学生の延べ人数が85名。一般の方の

協力延べ人数が 452 名となっております。また参考といたしまして、上記の延べ人数だけではなく、実際に登録のあった学習チューター数についてもお示しております。学習チューター全体の登録人数が 165 名。そのうち筑波大学、大学院生にしましては 85 名。それ以外の大学生が 16 名。一般の方が 64 名となっております。こちらにしまして、特色として指摘しておきたい点といたしまして、まず、学習チューターの登録数ですが、筑波大生、大学院生と他大学生を合わせて 101 名となっております。一般の方に関しては 64 名となっております。ただ上記の延べ人数を見ますと、学生の協力延べ人数が 400 名、一般の方の延べ人数が 452 名となっております、実際に登録としては学生の人数の方が多いのですが、延べ人数でより多く協力いただいている方の人数となりますと、一般の、いわゆる地域の方の方が多いという結果になっております。一般の方につきましては、現役をリタイアされた比較的時間があつた方といったような影響もあるかと思いますが、この事業が学生の協力はもとより、地域の方に関しても多大な協力をえて、進めている事業であるということができるとは思いません。

続きまして 3 番の制度関連になります。今年度、令和 6 年 4 月時点の市内、中学校義務教育学校の在籍人数が 6,622 名となっております。このつくば未来塾に参加していただいた生徒の延べ人数が、9,150 名となっております。次の項目が前回の会議で、延べ人数だけではなくて、実際に参加した生徒の人数が必要ではないかという御意見をいただきましたので、今回の会議より、生徒の実人数を記載しております。令和 6 年度に関しては 1,824 名となっております。また次、平均値と経年比較ですが、まず、チューター 1 人当たりの活動回数が 5.2 回、学習支援の 1 回当たりのチューター数が 3.9 名。チューター 1 人当たりの担当生徒数が 10.7 名。参加生徒 1 人当たりの参加回数ですが、こちらにしまして、前回までは中学校・義務教育学校の在籍人数をもとにして、参加延べ人数を在籍数で割った数字となっておりますが、より実情を反映した数

字として、参加生徒延べ人数を参加生徒の実数で割った数字とさせていただきます。その結果、参加生徒1人当たりの参加回数は、平均して5回という形になっております。また未来塾1回当たりの参加生徒数は41.8名という結果になっております。

続きまして2ページ目となります。予算の執行率に関してとなります。令和6年度のつくば市一般会計予算でつくば未来塾の要する経費となります。まず歳入に関してですが、この事業は、ここに記載してありますように、文部科学省及び茨城県の補助を受けて実施しております。補助対象経費のうち、国・県がそれぞれ3分の1を負担し、合計3分の2の補助金としていただくことで実施することができております。今年度の交付額につきましては、昨年8月付で県の生涯学習課より、交付決定通知がありまして287万円という数字になっております。これに、関しましては、今年度の実績をもとに、最終的な交付確定といったところがございます、例年ですと令和7年度当初に確定いたしますので、この数字はまだ確定ということではございません。なおこの補助に関しましては、冒頭課長の挨拶にもありましたように、各自治体においてコミュニティ・スクールを導入しているということが要件となっております。つくば市としては、補助の要件は満たしているという形になっております。続きまして歳出についてです。歳出は大きく分けまして、報償費、旅費、需用費、役員費という、大きな4つの枠に基づいております。まずこの報償費の一番上、指導員謝礼というものがあり、こちらは学習チューターが各学校で支援を行った際にお支払いする謝礼となっております。こちら市の基準で1時間当たり2,200円の謝礼となっております。予算の占める割合としては、こちらが一番大きいものとなっております。当初予算額が435万6,000円に対して、決算の見込み額が340万8,900円。予算執行率が78.26%となっております。またその下にあります未来塾運営会議委員謝礼と、それから費用弁償につきましては、この運営会議の委員の皆様にお支払いする謝礼と費用弁償、旅費のことになります

が、そちらの数字となっております。また、この未来塾の事業に関しましては、各学校、1校当たり、必要な消耗品として2万円、テキスト代として2万円の予算を計上しております。そちらがこの事務用消耗品、テキスト代の予算となっております。こちらはそれぞれ36万円の当初予算に対し、記載してある決算見込み額、執行率となっております。また一番下にある損害保険料ですが、こちらは学習チューターの皆様が、学校に向かう途中や、学習支援中に万が一事故に遭われた場合の損害保険の加入料金となっております。こちらも執行率は表示してある通りです。全体といたしまして、当初予算額が518万7,000円。決算見込み額が403万1,953円。執行率が77.73%の見込みとなっております。参考としてと、今年度を含めた5年間の執行率の推移を掲載しております。御確認いただければと思います。私からの説明は以上となります。

中山座長：はい。ただ今、事務局の方から6年度の様子を説明いただきました。御意見。御質問ありましたらお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

森田委員：御意見というわけじゃないのですが、今回、付け加えて、参加生徒実人数であったことで大体全体の4分の1とか、3割弱ぐらいが利用していると分かって、分かりやすくなりました。同じく、参加回数が1人当たり5回ということで、特定の方ばかりじゃなくてバランスよく利用されているものがあって、非常に数字が見やすくなったと思いました。一部課題としてあがっていた、学校によってはチューターが来づらいというようなことがあったようですが、どの程度の課題なのかなと思います。

事務局（飯島係長）：この学習チューターの方々が、大学生の方が多いということもありまして、市内中心部ですとか、学園地区の中ですとチューターが比較的募集に対して、すぐ定員まで達するというところがあります。その周辺部、例えば秀峰筑波ですとか、あとは茎崎といった、少しちょっと中心部から離れたところになりますと、当初の募集だけですとなかなか定員にまで達しない、当初そちらを希望されていないチューターの方などにも、こちらから学習支

援に入れませんかと依頼をさせていただいて、ちょうど枠が埋まるといったような状況でございます。交通手段の関係とかで、学生さんだけですと市内全域までの支援っていうことが難しい状況にあるのかなということを感じております。

森田委員：チューター1人当たりの生徒数が10名前後だったのですが、それは極端に1人足りなくて20分になったとか、そこまでではなくて声かけをすれば何とか対応できるレベルっていうぐらいですかね。

事務局（飯島係長）：おっしゃる通りです。

森田委員：うちの息子、実は参加したんですが、うち近所なので、多分、学森とか春日とかしか希望してなかったと思うんですよね。例えば、交通費とか出るのであるのか。何か車を使ったとか、なんかそういうところで手当をすると希望してもらえるのかなと思います。

中山座長：交通費は込みでしたよね。

事務局（飯島係長）：はい、交通費込みです。

中山座長：チューターにしても、行き帰りの時間を考えるとね、広いから、行き帰りに30分30分かかったら1時間余計に働いてるものだから、そういうところもありますよね。

その他ございますか。

中嶋委員：資料、細かくありがとうございました。よく分かりました。参加している生徒数も3割まではいかないのかな。ここを見ると、6,622名の中学生の数のうち1,824人が参加しているということで、非常に多いと言っているのかと思います。もっと増えたほうが良いということもあるかもしれませんが、大分多くの生徒がこの事業に参加しているということで、よかったなというふうに思っております。そこで質問ですが、この学習チューターさんに、一般の人、これ地域の方が64人いましたが、この一般の人は、地域的には学園の方とか、この辺の中心にお住まいの方が多いのだろうと思いますが、その辺の

ある程度の数字が分かればということと、年齢っていうかね、どの年代の人が、例えば我々みたいな70代みたいな、そういうリタイア組も入ってやっているのかというようなことが分かれば、お聞きしたいと思うのですがいかがでしょうか。

事務局（飯島係長）：ありがとうございます。まず、一般の方に関してですが、ちょっと正確な集計ではないので、担当者の感覚みたいなところにもなってしまいますが、傾向としては、当然、学園地区というか中心部の方もいらっしゃいますが、後は、周辺部の学校の近くにお住まいの方ですとか、傾向としては大学生よりも一般の方の方が、周辺にお住まいの方が多いかなという感じはしております。それから、やはり年齢層ですが、こちらもすいません感覚的なところですが。さっきおっしゃられましたように70代或いは60代ぐらいの、リタイアされていて、例えばもともと教員をされていた方ですとか、そういうところで、まだ学習支援の意欲がある方が多いというふうには感じております。中には40代とか現役の世代の方で、仕事を持ちつつ参加いただいている方もいらっしゃいます。全体的な傾向としては、一線を退かれかけた方に、かなり御協力いただいているという感じを受けております。

中山座長：では、茂在委員。

茂在副座長：このチューターの募集は、市役所のホームページにだけ載せていたのでしたか。それと、例えばその周辺とか学園地区というのがありましたけれど、せっかくそのコミュニティ・スクールというのがあるので、その学園の方から、この地区で、こういう活動があるので、御協力いただける方がいましたらっていうふうに投げると、おそらくこの中心部ばかりでなくて、周辺とかこちらでも、保護者がもしかしたらやってみようかしらなんていうことで、人材確保にも繋がるかなと思いました。市役所のホームページに直接入っているのは、なかなか入っていけないのかなと思うので、広報の仕方をちょっと考えると人材は集まるのかなあと思ったのですが、参考までにということ。

事務局（飯島係長）：ありがとうございます。

中山座長：はいその他、事業実績についてありますか。無いようでしたら、2番項の課題を踏まえた7年度の取り組みについて、事務局から説明をお願いします。

事務局（村上社教主事）：社会教育主事の村上でございます。3ページの方から御説明をさせていただければというふうに思います。こちらの表ですけれども、生徒、それから教職員、学習チューターの方にアンケートをとっておりますので、そちらの結果を反映させたものと、あとは各学校の方に未来塾を実施している時間にお伺いをさせていただいて、実際の様子ですとか、あとは先生方から課題等を聞き取りさせていただいたものを、こちらの方にお示しをさせていただいております。

まず1番目の生徒の学習上のつまずきの解消に関してというところになりますけれども、アンケート項目ですが、今年度新しい質問項目に変えました。以前は生徒の項目を見ていただくとお分かりいただけますが、「参加する前よりも学力が身に付いたと思うか」というようなアンケートになっていました。こちらの方を全部「これまで分からなかった問題ができるようになった」というふうに変更させていただきました。6年度の結果としては82%ということで、それほど大きくは変わらなかったというふうに思います。

下の段で教職員のところですが、同じように「生徒の学力向上を図る上でつくと未来塾の実施が有効だと思うか」という質問だったのですが、それを新しく「つまずきの解消、学習習慣の定着に、未来塾が有効だったか」というように質問項目を変えたところ、89.6%ということで、令和5年度と比べると7ポイント程度向上しました。これは、先生方にも聞き取りをさせていただきましたが、未来塾の目的がより明確になって答えやすかったということと、あとは子どもたちをそういう視点で見ることができたという御意見をいただいておりますので、目的やこちらの意図をお伝えすることができたと感じております。

2番目の学習意欲の向上に関してですが、まず結果が赤字のところですが、生徒のところですが、これも以前は「これからの学習に進んで取り組もうという気持ちになったか」という質問だったのですが、新しい質問では「学習習慣が身に付くきっかけに未来塾になったか」という質問に切り換えました。令和5年度が85.5%のところ、令和6年度は75.2%に下がってしまっていますが、先生方への聞き取りからすると、マイナスの要素だけではないというふうにとらえています。学習習慣が身に付くきっかけになったかということで未来塾を終えた後にも、自分から学習をする習慣が付いているという意識をもって、この回答をしている生徒がたくさんいるという声もいただいています。身に付くきっかけにならなかった生徒もいるとは思いますが、より自分自身の日常を振り返って、学習習慣の定着について自分で振り返るきっかけになった生徒も多くいたと感じております。

また、この後詳しいアンケート結果の説明もありますが、第1回目のこの会議の中で、せっかく学習チューターの方が関わっていただいているので、そのチューターの方の御自身の、これまでの人生経験やキャリア教育の視点でお話していただいてもよいのではないかと御意見をいただきましたので、チューターの方にオリエンテーションを行った際に、未来塾のことを説明する機会が7月にあるのですが、その中でキャリア教育とか、御自身の御経験とかにも折に触れて、子どもたちに話していただけると幸いですというようなことをお伝えしました。その結果の、学校の方からもそういうふうな話を結構していただいたということを伺っています。

3番目の学校と地域の協働連携に関してなのですが、先ほど係長の方からありましたが、このオレンジの枠のところ、2段目のところですが、筑波大関係者の学習チューターは85名ということで、非常に大きな支えとなっています。一方、地域の学習チューターの方のリピート率が高く、何回も参加をしていただいている方や、或いは急なキャンセルで困ってしまった時にお電話すると、

御都合を調整して御参加いただいている方もいらっしゃいます。そういった方はやっぱり複数回配置しているところもありまして、学校の方にお伺いしたときにも、子どもたちが何かこう親しげに関わりをもちながら学習を支援していただいているように思います。

3番目の学校と地域の協働連携に関しての数値的なところを見ると、教職員の赤字のところですが、96.3%ということで、「教員以外による学習支援は生徒にとって有効だった」と、「有効だと思うか」というところですが、こちら教職員のパーセンテージで言うと96.3%ということで、かなり高い数値の方が出ています。ただ一方、「未来塾の学習チューターだけには任せられないので、教員も入ることでちょっと負担を感じる」という御意見もいただいています。ただ、その一方で96.3%が「地域の力は借りたい」というようなところが出ていますので、ここはちょっと仕組みの問題を改善すると、よりよい事業になっていくというふうに思っています。

学習チューターの項目の一番下の、「今後のつくば市の事業において協力していただけるか」ということで100%となっています。地域の方、学生の方とも学習チューターの意識というのは非常に高いものがあって、例年高い数字が出ています。ここの思いを上手くマッチングさせることが、良い結果に繋がったかなというふうに思います。

4番目の課題と対応ですが、今後の課題としては、学校の実態によっては学習チューターだけに未来塾の時間を任せられないこととか、未来塾へのメリットを感じられていない教職員の方が一部いらっしゃるということと、学習チューターの質の向上や、つまずきを感じている生徒の未来塾への参加促進、こういったところが現在の課題となっているというふうに思っております。以上になります。

中山座長：今、説明ありました、こちらの方、いかがでしょうか。

森田委員：4番の課題と対応のところですが、学校の実態によっては、学習チ

ューターだけに未来塾の時間を任せられないということですが、学校の先生が関わらないといけないということですか。学習チューターだけには未来塾を任せられないということですか。

事務局（村上社教主事）：やり方の問題もあるかと思いますが、今年度、岡野課長の方からも校長会で未来塾の目的としては、つまずきの解消と学力の定着というこでやっているの、基本的には少人数ってところで推奨していますということお伝えはさせていただいています。ちょっと人数が膨らんでしまった日とか、そういう実態があつて、騒がしくなつてしまい学習チューターだけにはちょっと任せるのが難しいとか、そういったところが出ているかなというふうには思っています。

岡野委員：今の御質問にちょっと付随するのですが、いいですか。学び推進課岡野です。その課題感のところ、その課題を踏まえた令和7年度取組み4を読まさせていただくと、かぶってしまうのですが、多分なのですが、この希望制でやってらっしゃる学校さんと、ある程度参加しようねということで多くの人数が参加されている学校さんがあつて、何かそうすると、子どもたちが夏休みに、参加しようねで無理くり行かせられているような場合が生じたとしてい、るんであれば、こういったざわつちやつて教員がいないと落ち着かないということにもなりかねないし、何か先生方の負担感とかも、この課題のところには出てくるところがあつたので、やはり前提は手挙げ式ってところがベースだろうということを感じます。ただ、手挙げでね、全体の人数がどうこうということもありますが、そこは教員の方で、あとチューターさんの方で今までの成果とか、よかった点の事例なんかを伝えながら、興味もつて少しでも参加できるように呼びかけが必要なのかなと、この資料と見ると感じたところでした。以上です。

森田委員：2番目もちょっと気になります。メリットは感じられていない。どうということかな。つまずき解消とか、学習習慣の部分とかが目標とすると、そ

れに参加している人でもメリットがないのか。参加しないから、あっても意味がないということなのかがちょっと分からない。このメリットを感じないということが、わからなかったのですけど。

事務局（村上社教主事）：先ほど岡野課長の話に繋がる場所ではあるのですが、やはり未来塾、基本的に手挙げ制だっというふうには周知はしているのですが、そのところで、例えば夏休み最初のところで未来塾を、夏休みに入った最初の1週間ぐらいで未来塾を設定して、生活習慣の乱れが出ないようにするという意図のもとに、大人数が参加をしているような学校さんもまだあります。そういったところだと、やっぱりこう、手挙げ制ではないので、ざわついてしまう生徒がいるとか、未来塾をやっているけれど学習的な効果があったのかとか、そういったところを考えるとメリットを感じられないという御意見だったと思います。

森田委員：はい、ありがとうございます。

中嶋委員：はい、アンケート等のデータを細かく出してもらっていますが、項目の言葉が変わると、答える方も違ってくるので、この新しく項目が変わったところと、前にあったところの数字の比較は難しいのかなと思いました。特に学習意欲の向上に関しての項目、例えば、生徒の項目で「楽しく学習ができたか」と、「意欲的に学習を進めましたか」と言われると、ちょっと質が違う部分で数値的には、違ってくるのかなと思います。見ての印象ですね。生徒の差が75.2%と赤で差が書いてあるところですね。前は「学習に進んで、取り組もうとする気持ちになったか」という項目を、「学習習慣が身に付くきっかけになったか」という問いに変わったようようですが、何かこの辺もやっぱり質がちょっと違うので数値的にちょっと落ちたんでしょうけど。やっぱりこれ、「進んで取り組もうという気持ち」と、「習慣が身に付くということ」とはちょっと質的に違ってしまうと、数値的にはちょっと違って出てきていないですかね。という、見方を私はしました。

ですが、その上のデータで教職員が、つくば未来塾を実施してよかったかということに対しては、84.9ですか。そういうね、高い数値が出ているので。これは非常にいいなというふうに思いました。あとその次3の、「学校と地域の協働連携」ということに関してですが、教職員が「教員以外に学習支援は生徒にとって有効だったと思いますか」ということで本当に96.3という、100じゃないですけど、有効だったというふうに学校が捉えているということですね。やってよかった事業というかね、いい内容だったっていうことで、これもいい数字が出てきていてよかったなと思います。あと、学習チューターさんが今後も協力していただけるというのが、全員っていうね、この数字も素晴らしい中身がね、出来ているんだなということで、この数字を見て感じているところです。

4の課題と対応ですが、いくつか出ましたが、私は4番目の学習につまずきを感じている生徒の、未来塾の参加促進を図るということで、ここなのですけども、さっき出たように手挙げ方式とかだから、ここの学習チューターさんと学びたいっていう子は、学習にある程度意欲のあるといいますかね、やる気のある子が多分参加している場合が多いというふうに思いますので、どうしても勉強が嫌いとか、そういう子はあまり進んではやりたくないと思うので、この部分は学校教育、学校の先生の仕事になってくるんだろうと思います。つまずきとか、なかなか学習についていけない子は学校の先生が細かく、どこかで面倒を見る、指導をするし、こういう意欲があってもっといろんなレベルの勉強をしたいっていう子は、学習チューターさんとか、そういう学びの場に行って広く大きく学ぶという姿で、私はいいのではないかなという思いをもっています。以上です。

中山座長：はい。ありがとうございます。その他ございますか。

自分の方からちょっと1つ。2番のですね、生徒の「取り組んだ教科が以前よりも好きになったか」という質問で、これ毎年少し落ちているのですよ。赤

文字になっていないけど、61.9なので、3分の2弱ということで、もうちょっとこう教え方があったのかな、そういう気はしますよね。そのための目的じゃないですか、学習チューターをお願いして送ってるのは。もう少し違った方向で、教えてもらうことによってということもあるので。設問の仕方によって変わってくるのかなと思うのですけれども。若干良くなったかっていうのと、大分どんと上がったことですよ。良くなかったが、イエスかどうかっていうことになるところに、なってきたのかなという気がしますね。他と比べるとちょっと低いんだよねというふうに感じました。

森田委員：もう1ついいですか。全く関係ない話になってしまうかもしれないですけど、ちょっと気になったのですが、目的はつまずき解消とか、習慣化とかいう話だったのですが、こういうことやることによって、なんだろうやっばり日頃、本当に勉強についていけない、それもつまずき解消かもしれないですけど。ついていけない人で、経済的に恵まれず、なかなか塾に行けない人が、この場を活用して、勉強しようとしているとか、あともしかしたら本当に休み期間中とか、家に居場所がないとか、そういう方々が利用する場所になっていないのか、そういうところって何かありますか。

事務局（村上社教主事）：そうですね、経済的なというところは、数字としては出ないのですけれども、こちらでも御説明しようと思ったんですが、私が少し残ってから退勤するときにコミュニティ棟の、1階のところで結構、高校生たちが学習をしていて、学習場所に自分の家を選ばずに、学校とか別の施設とか、そういったところを活用する子どもたちが多くなったのかなあというところで、未来塾もそういったところの様子もあって、夏休み期間中とかで家で勉強せずに、学校に来てというところも、あたりしてそこが快適だっていう、子どもたちの意見とかもあったので、そういったところは未来塾は効果的のかなというふうには思っています。

森田委員：あんまりいろいろな目的をつけてしまうと良くないなと思うのです

が、そういう話もなくはないと思ったのですよ。意味があるかどうかという確認もあって。ありがとうございます。

中山座長：あと私からちょっと。予算執行率、去年の執行率なのですけれど、4、執行率の推移ですが、令和2年はコロナが、2年、3年は低かったのは当然なのかなと思うんだけど、5年から6年の77に落ちていますよね。予算の方も上がったからってということもあるかなと思うのですけれども、これを執行率もちょっと上げるようにしたほうがよいのじゃないのかな。学習チューター頑張っているようであれば、ちょっと高くてもいいかなって感じがしますよね。そうしないと、予算、けずられちゃうかもしれません。

事務局（飯島係長）：わかりました。ありがとうございます。

中山座長：その他、ございますか。茂在先生。

茂在副座長：実施する時期にもよるのかなと思うのですよね。うち竹園あたりは、夏休みの最初に学習習慣と言いながらも、やはりその経済的なものなのかどうか分からないですが、結構、塾や夏期講習なんかに行っている子どもたちがいて、未来塾よりもそちらへ行っているところがあります。若干人数がね、低く少なくなっているところでもあります。あとは普通の授業で、やらされている勉強ばかりやっている子どもたちは、結局、何かこう課題を与えられないと、主体的に取り組めないってところもあって、普通の授業から自分で課題を見つけて取り組んでいくような授業をしていかないと、おそらく自分で疑問な点を見つけてチューターさんにこう聞くってということが、一番の流れだと思います。チューターさんから課題を出していただいて、それを解くというふうな形ではないので、その辺の授業スタイルあたりも、これと絡めながら、子どもたちが自分で課題を見つけて取り組んでいくような授業にしていけば、おそらく自分の疑問を事前に把握した上で、チューターさんこれ分からないんですけど、どうしたらいいですかって、こうだよと、じゃこうだったらどうですかって。何かこう、より違った深い学びにつながる活動になるのかなあとい

うのはちょっと感じるどころがありました。

事務局（村上社教主事）：ありがとうございます。

中山座長：その他どうですか。皆さん、この教育の専門家ばかりだ。岡野課長、どうですか。

岡野委員：今のお話で自分も同じようなことは考えていました。せっかくこの限られた時間を子どもたちが有効に使えるようにするには、そこに行ってゼロからっていう子も、もしかしたらいるとは思うのですよね。そうではなくて事前に課題をいろいろやっていく中で、自分のつまずきはここだと発見できる子は、茂在先生おっしゃるように、自分で自走できる子なので、ある意味、もうそのままで有効活用されている。そうでない子たちにどう手を差し伸べ救うのかというと、チューターさんが課題づくりにハードルがあるのであれば、総研のやっているチャレンジングスタディとかインタラクティブスタディとかですね。自分に合った課題を、少しずつやっていくとかしながら、つまずきを自分なりに分からなかったら、そこから聞き始めようとか、ということを学校さんの方も投げかけていくのも、一つかなと感じたところです。

そうすると先生方の御負担も少なくて済むし、自分からいろんな問題を掴みに行くっていう習慣を、ちょっとでもね、どこがわからないかがわからないっていう子どもたちは特になんかと思うのですよね。あとあれはデジタルでデータベースで御自身のやったところは記録にも残るので、励みにもなってくということですね、チャレンジングスタディを使う率も今少し頭どまりしているところもあるので、ぜひ御紹介していただけるとありがたいと思ったところです。

中山座長：ありがとうございます。中嶋さん、どうですか。

中嶋委員：この資料とは別になりますが、要するに子どもがどこで勉強するのか学ぶかっていうことを考えると、授業以外でということと言うと、今、子どもらは茂在さんからも出たように、結構、交流センターとかああいうところの空いている席で自主的に勉強している子どもって多いですよね。1人の子もい

るし、なんか2、3人でグループとかで。うちの孫も1年生ですが、やっぱり交流センター行って勉強してくるなんていって、何で家でやらないんだと思うんですけども。友達とやることの勉強の良さっていうか、それはそのまま楽しいのか気が合うからというのか、その部分ですよね。本当は勉強は家で自学しないとなかなか定着しないものなのですけれども。そういう学習の場ですから未来塾は、チューターさんがいてくれて、学校が意図的にやっている場なので、さっき話題に出た希望してやるやり方と、つまずきとか多い子をちょっと何月何日に教える人が、せつかくの制度も含めて一緒にやるから学びに来いというようなある程度強制ってことかどうかわかりませんが、そういう授業以外の日に学びの場を学校で設定してやると。そういうこともふくめて、いろんな場面ってことで、今やっているこの学習チューターさん方式、それから学校が意図的に何人かを集めて学校の休みのときに学びに来いとか、あとはグループでどっか交流センターとかそういう広場に来て勉強するのも大いに奨励し、そこに教えるチューターさんは入れることはできないだろうと思うんですけども、必要ならばそういうことと、あとは自分の家でしっかり学びをなささいというようなことを、いろんな方法を入れて、子どもの学力を上げたり、この学びの広さを深めていくということで子どもを学ばせていくのがいいのかなというような思いはもっています。

中山座長：ありがとうございました。次の議題もありますので、変えまして、2番目の課題を踏まえた、7年度の取り組みについてということで事務局の方から説明をお願いします。

事務局（村上社教主事）：続けて村上の方で担当させていただきます。先ほどのアンケート結果から、重複するところもあるのですが、先生方に聞き取りをさせてもらったものや、アンケートの主な結果の方をこちらに入れさせていただいております。先ほど御助言いただいたように今年度はじめに、未来塾の目的のところを再確認させていただいて、つまずきの解消、それから学力の定着、

学習習慣の定着。そういったところをオリエンテーションの中でチューターの方にお伝えしてきました。先生方にも子どもたちに未来塾に参加する前に、自分の課題を、分からないところを明確にして、参加するよというこでアナウンスはしてきたのですが、そもそも自分の課題を自分自身がとらえられてない生徒もいると思いますので、先ほど岡野課長よりインタラクティブスタディの活用ということをお助言いただきましたので、学校にお声掛けしていきたいと思ひます。成果ももちろんたくさんあるのですが、課題のところでも多く上がったのが、やり方の問題です。「チューターだけに任せられない」という御意見と、「つまずきがあり、参加してほしい生徒に来てもらえない状況がある」という、この2つが大きな課題と思ひています。成果もちょっと交えながらお伝えをさせていただきたいと思ひます。

学力向上・つまずき解消についての成果と考へて、成果のところですが、1番目の学習チューターが寄り添った関わりをしてくれたおかげで、生徒の分からない問題の解消が見られたとか、未来塾に参加する前に自ら課題を整理して臨んでいる生徒がいたとか、あとは、5番目ですね、学習チューターには事前に学校の方から机間指導をするように依頼し、困っている生徒がいたら積極的に声をかけるようにして欲しいってことを依頼したところ、難しい問題チャレンジしたり、苦手教科を克服しようとしたりする生徒も多数いたということなど様々な御感想がありました。共通するところは、学校側からの明確な投げかけと、それから学習チューターの方と子どもたちの信頼関係です。特に複数回参加しているチューターの方は信頼関係を構築できていたと思ひます。そういったところがよくできていると、この未来塾事業がより効果を発揮するのだと思ひています。

課題のところですが、「生徒が学習チューターに質問を向けない」というものがあります。これも、事前に自分が何が分からないのか明らかにして臨んでいるかどうかというところも絡んでくると思ひます。やはり学習チューター

の信頼関係を築くというところが、大事ななと思いますので、今年度も意識はしてきたのですが同じ学習チューターを複数回配置するというのも、これからも進めていきたいと思っています。

また、学習につまずきを感じている生徒が未来塾に参加できていないところですが、中嶋先生からもあったと思うのですが、ここは学校の先生の方からも投げかけをしていくべきところなのかなと思っています。自分は教員籍でお世話になっているのですが、中学校に勤務していたときには二者面談等を通じて、未来塾があるからと参加を進めたり、分からない問題が分かるようになるってというような、希望とか意欲の向上とかを伝えたりすることで、参加を進めていたなと思っています。1人参加すると、友達も連れて行こうということで、課題をもった子たちが集まるようなサイクルが、できていたと記憶しています。

学習習慣の定着についての成果と課題ですが、こちらも重複するのですが、成果としては、3番目4番目です。自宅では学習がはかどらないが、教室で学習できたことでいつもより集中できた。それから気軽に学習チューターに質問できることとか、夏休みの暑い時期にエアコンのついた環境の教室で学習することは非常に効率がよかったということで、自宅と場所を変えて、さらに学習チューターの方を置いてという環境を、幸せに感じている子どもたちもたくさんいることがアンケートから分かりました。また、今年度狙っているところが、アンケート結果としても出たと思ったのですが、生徒が高校を選択する際のポイントについて、学習チューターの方からアドバイスを受けたことで、進学意欲が向上した、ということもありました。また学習習慣の定着についても、チューターご自身の経験から子どもたち伝えてあげてくださいというふうにお伝えしたのですが、学習チューターから学習計画などの具体的なアドバイスを受けたことで、学習意欲が向上した、というようなアンケート結果や先生方からの聞き取りもありました。これは非常に効果的だったと思います。学校を訪問した時に、学習支援という形で学習の話をしていることも大事だと思うので

すが、こういったキャリアのこのお話とか、ちょっと何気ない会話とか、そういったことを展開させているチューターと子どもたちの関係は非常によかったと思っていますし、そういったことも進めていければよいと思いました。

課題についてはまた同じような形になってしまいますが、学習習慣を身に付けて欲しい生徒の参加が消極的なところがありますので、こちらも学校側からの投げかけもそうですし、あとは参加したいという思わせる工夫も必要になってくるというふうに思います。チューターの方でとても子どもたち思いというかすごく人気のあるチューターの方もいらっしゃいまして、今、そのチューターの方が学校に来ると、誰々さん今日教えてみたいな形で生徒が待っていてくれるようなチューターの方もいました。そのチューターの方は教室に入ると、「こっちに集まって」と言って、何人かの机を並べさせて、本当に授業の少人数グループのような形で一人一人に細やかに話し、学習支援をしてくれました。本当に学校の先生だけでなく、地域の方がそういうふうに入って、この人と学習したいとか、いろんな話をしたいとか、そういった子どもたちが、楽しいとか幸せだなとか、そういった環境を作ることも、こういったところも大事なのかなと思いましたので、改めて地域の人材、そういったところが、この事業にとっては非常大事なところだと思いました。実施方法についての成果ですが、昨年度と重複するようなところもあるのですが、子どもたちが学習に意欲的な時期、例えば期末テスト前とか、そういったところを設定すると、意欲が高まっているようなことを先生方から聞き取りができました。あとは、先ほどと重複しますが、学習チューターの周りに机配置して、少人数で丁寧な学習指導を行っているようなチューターの方もいらっしゃいました。こういった核になるチューターの方が、各学校に何人かいらっしゃったので、そういった方たちと、学校の先生とのやりとりの中で、実はこういうところで今生徒が苦勞しているとか、そういった密なコミュニケーションすることによって、その核となるチューターの方をハブとして、その日に参加している学習チューターの方

の子どもたちの寄り添い方がさらに向上していくというかなあということを感じながら帰ってきました。それから集中して学習する教室と質問をする教室を分けることで集中して取り組める環境を整えている学校もありました。課題についてなんですが、2番目のところですね、先ほど茂在校長先生からもありましたけれども、夏休みに実施をしている学校さんですが、夏期講習と重なっている生徒さんも多数いたりして、別の時期の方がよかったのかという御意見をいただきました。とある学校では、11月の私立の学校選択の面談の裏側で実施しているところがありました。保護者の方を待っている時間に未来塾を設定しているような学校さんもあったので、こういった事例の紹介もしていきたいというふうに思います。

昨年度は学年全員で未来塾を実施している学校さんあったのですが、少人数で、希望制で実施することで効果が上がりますとお伝えしたところ、かなり前向きに、子どもたち頑張ることができたということがありました。あと資料の赤字のところですが、信頼関係を築くっていうところもそうなのですが、私が中学校でやっていたこととしてはこの2番目のところですが、未来塾に配置する教員を技能教科の教員ということで、自分は保健体育の教科を担当していたものですから、例えばテスト前で部活休みの期間とか、そういった時に、5教科の先生にはテストの作成の時間に当てていただいたりして、ある学習チューターに優秀な方に来ていただいているので、私の方で学習チューターの方と生徒の信頼関係というか、コミュニケーションのところをつなぐっていうことを役割をしたところ、非常によく学習する時間ができていたと思っていたので、こういったことを今年度提案してきたので、さらに好事例を提案していきたいと思っています。今後の課題についてですが、いろいろあるのはあるのですが、この後ちょっと御説明を係長の方からしてもらおうと思っているのですが、この未来塾に関わる成果報告書というものがあるのですが、これが学校には負担になってしまっているという現状が、今見えています。

そこで、成果報告書を作成いただくなくても、成果と課題のみアンケートで答えていただくような作り、こちらで工夫することができるのではと思います。この辺は、改善をしていきたいと考えています。学習チューターのみでは学習に向かえない生徒もいるためというところは、人数が多いというところが主なところだと思うので、やり方の工夫を、促していきたいと思っています。

チューターの急なキャンセルがあったということで、これと毎年出てくるのですが、今年度オリエンテーションなどで、事前に周知を徹底しました。結果キャンセルが少なくなったと思います。現在の主なキャンセル理由としては、5月の募集の際に各学校の開催期日を示し、チューターの方から年間を通した学校と希望期日を申しんでもらう仕組みとなっているのですが、大学生が後期の時間割が年度初めには決まらないので、後期の時間が決まってから、キャンセルになることがあります。これは仕方がないことなので、授業が決まった時点で早めに連絡をしてくださいということでお伝えしたところ、直前のキャンセルはほとんどなくなりまして、急な体調不良のキャンセルとか、そういった仕方ないところがあったのですが、かなりこの辺りも課題としては書かせていただいたのですが、改善に向けて進んでいるかなというふうには思っています。

それから最後にですね、数学理科の質問が多いのでチューターの得意教科を教えてもらえるということで、現状なかなかそこへのマッチングっていうのは難しいところではあるのですが、信頼おける学習チューターを複数回配置するっていうところで、そういったところも改善できたり、あとは、多くの学校で、未来塾が始まる時に、チューターの方に自己紹介をしていただいたりとか、あとは得意教科を教えていただいたりとか、そういった工夫をしていただいて対応しています。

事務局（飯島係長）：すみません資料の続きになりますが、ちょっと市の対応ということで、簡単に御説明させていただければと思います。先ほど村上の方からもありましたが、今年度までこの様式6成果報告書というもの、こちらを、

未来塾を実施する学校の担当の教職員にこれまでお願いしておりました。中身といたしましては、学力向上つまり解消と、学習習慣の定着の観点から、生徒の学力について検証していただいて、成果、それから今後の課題を報告していただくというものでした。ただ、まず先ほどありましたように、本事業を、全員参加というよりは、希望者が自主的に参加するという事業ということもありまして、その学習習慣の定着っていうところを詳細に検証することは、なかなか困難であるという、それから、教職員としても、以前は学校学力診断テストの結果なんかを踏まえて検証結果として出してはいただいていたのですが、ちょっと負担であるという御意見がありました。ので、この成果報告書に関しては、今年度をもって廃止する方向で考えております。その代替りの措置といたしまして、次のページにあります教職員用のアンケートですね、これは現在も実施しておるものなのですが、設問の最後の5番のところに、今後の課題というところで記入する欄がございます。担当の、教職員の方には今後の課題というところで、課題改善点などを報告していただいて、今後のフィードバックにつなげていくという方向をとっていきたいと考えております。それから、次のページになりますが、令和6年度第1回つくば未来塾運営会議を受けての対応事項というところで、簡単にちょっとまとめさせていただいております。先ほど当初の実績報告のところで御説明いたしましたが、在籍生徒のうち実際何人が未来塾に参加しているかという、数字に関しまして、今回掲載させていただきました。

2番目といたしまして、未来塾を各学校で担当している、主に教務主任の先生が多いと思うのですが、その教務主任会での説明が必要ではないかという御意見がございましたので、昨年11月の教務主任会定例会において、来年度の未来塾の実施する際の変更点や、また今年度、このように好事例ですね、適切に運営していただいているというようなところの共有を行いました。

また、3番目といたしまして、学習チューターから生徒に関して、その勉強

だけではなくキャリア教育の観点からもお話があってもいいのではないかという話をいただきました。昨年7月の学習チューター対象としたオリエンテーションにおきまして、学習指導の五教科だけでなく、御自身のキャリアの観点で、生徒にいろいろとちょっとお話をさせていただくよう助言を行った結果、こちらに関しても、良い効果があったものと考えております。説明としては以上となります。

中山座長：ただいまの事務局の方から、令和7年度のことについて説明がありましたが、何かございますか。先ほど言った予算執行は70%ちょっとぐらいだったので、例えば学習チューターで、差はあると思うのですよね。まず魅力ある学習チューターもいるし、で、たぶん時間で切っているのかと思うのですけれども。それを延長するような仕組みは難しいですか。もっとも、実際やっているのかもしれませんが。

事務局（飯島係長）：延長というのは1日のうちですか。

中山座長：例えば、個別対応することで。最後に終わってから個別対応で、1時間ぐらい延長してもいいよというような。自分が苦手なことを聞きたい。子がいれば、それだけ意欲をもっていることだと思えるので、そういう場合には対応してもいいですよ、その報酬はお支払いしますよとかいうことも、あってもいいのかなあ。予算が余っているのであればね。

事務局（飯島係長）：今のところ延長したという事例はないのですけれども。実際、1時間なら1時間多く学習支援をしたのであれば、謝礼としてお支払いすることは可能かとは思いますが。ただ、生徒さんのちょっと帰る時間が遅くなるとか、チューターさんは外部の方なので、それ以上いても大丈夫なのかとか、確認しなくてはいけないことは、あるかとは思いますが。

中山座長：そういう案もあるかなと思ひまして。学校の方の都合もあるでしょうし、その辺は臨機応変にできるような趣旨でもいいのじゃないかなと思ひました。ありがとうございます。その他どうでしょうか。

岡野委員：学び推進課岡野です。今のお話を聞いてまして、もしお時間で切れちゃう場合、子どもの学びがもっとね、深掘りしたいんだっていうときは、お名前と、何かを先生に引き継ぐとかして、時間は違っても、ていうのが教師のそこは本分でもありますし、繋いでいただくのは一つかなっていうのをお聞きして思ったところです。あとこの成果と課題、細かくまとめていただいて、先ほど村上先生から御説明のあった、チューターさんによっていろんな方もいらっしやって、もうベテランで慣れている方は、ハブとしてっていうお話もあったかと思うんですが、すごくそれ大事だなって思ったところです。チューターさんのマッチングで配置のところはね、計画的にやっていただいて、あとチューターさん同士の学び合いといいますか、それを一律に設定するのは難しいとは思いますが、チューターさんの御経験上を、こういうやり方をしたら、子どもたちすごく乗ってきたよとか、さっきの少人数じゃないですけどね。大人数の場合のやり方とか、少人数の場合のやり方とかの好事例なんかを、事務局さんの方である程度取りまとめていただいたり、それを各学校とか、チューターさんにフィードバックしていただいたり、あとは子どもたちの意見や考えといいますか。今のチューターさん同士の質の向上に、というところかと思うんですけど。去年の先輩というか、やった子たちで、自分はこういうふうに変ったとか、こういうスキルが身につけてすごくやり、やる気が出たとか、そういう子どもの意見っていいですかね。そういうのも、好事例っていうか次年度始まる前に、そういうふうな成果で先輩たちやってきたんだ、みたいなのが感じられるとやってみようかなあと思うきっかけにもね、何人かでやってもらえるとありがたいというふうに思いました。なので、そのチューターさん同士のスキルアップの好事例紹介。あとはそのお子さんたちの気持ちとか、よかった経験などを紹介いただくようなところね。そこお話聞いていて思ったところです。以上です。

中山座長：時間の方もだいぶ迫ってきているところですが。何かアイデアと

かありましたらお願いいたします。無いようでしたら、4番目のその他でお願いいたします。

中嶋委員：この学習チューターのねらいっていうか、評価がいつも学習向上とつまずきの解消という部分とその学習習慣の定着、この2項目がいつも大きく出てきているんですけど、この学習チューターをやったおかげでその学習習慣の定着ってということには、なかなか繋がるっていうことは難しいというか、定着といたら毎日こう決まった時間勉強機に向かうとかそういう、ことが定着ってということなんだろうと思うと、これは学校の中での指導の中身で、毎日こうやっていかないとなかなか定着という言葉にならない。ここの学習チューターさんはどちらかという学習意欲を高めるとか、自分が疑問に思っていることを解決してもらえる場とか、そういうのは主で、手挙げ方式で行くとすれば、いいのかなと思います。それでつまずきという言葉がいつも引っかかってくるのですが、つまずくとなると、できないっていうか、学習の遅れとか記憶が悪いとかそういうものを解消する。この短時間でそういう時間ではなさそうな気がします。つまずきは学校の先生方が、やっぱりその子に応じてやっていくし、学習の定着ってということも、やっぱり学校の先生が小学校からずっと、やっぱりやっていかなければ身につくものではないので、この部分の学習チューターのねらいというのは、ここの評価の部分とちょっと違うのかなとこう思います。

中山座長：ありがとうございます。その他、無いようでしたら事務の方に戻しますので、4番、お願いします。

事務局（飯島係長）：委員の皆様から様々な御意見いただきましてありがとうございます。来年度の事業の実施に、つきましては、本日いただいた御意見、参考させていただきながら、よりよい形に変えていきたいと思っております。

諸連絡という形になりますが、本日参考といたしまして令和7年度の未来塾学習チューター募集のチラシをお配りしております。来年度に関しましては、記載してある、令和7年5月8日から6月13日の日程で募集を行います。また、

実際の未来塾の実施日程に関しましては、年度当初、各学校から報告等をいただく形となっておりますので、現時点では未定となっております。それから、また委員の皆様におかれましては、今年度、1年間、未来塾運営会議に御参加いただきありがとうございました。この会議の任期は1年間となっておりますので、来年度また改めて、委員の方々、選任させていただくという形になります。継続していただく方と、役職の関係で、交代するという形になる場合もあるかと思いますが、また来年度、委員になられる場合はよろしく願いいたします。来年度第1回の会議につきましては6月中旬を予定しておりますので、また詳細が決まりましたら、追って御案内させていただければと思います。事務局からは以上になります。

事務局（澤頭課長）：委員の皆様には、本日も活発な御意見をいただきましてありがとうございます。私、未来塾事業に関わらせていただきまして3年目になりまして、感じるところを申し上げさせていただきたいと思います。

この事業は10数年にわたり実施している事業でございますが、その都度都度の社会的状況によって未来塾もその都度変化してきたと感じております。今現在は、茂在先生からもありましたように、チラシをコミュニティ・スクールで配るとよいのではないのかというお話もありましたように、当市が進めているコミュニティ・スクールと絡めてこの未来塾というのは、今後展開されるべきものなのかなというふうに考えておりますので、その点皆様御理解いただきまして御協力いただければなと思っております。

あともう1点、中嶋先生の方からもありましたようにこの未来塾の目的とかをもう一度、整理したいと思っております。というのも未来塾、学習塾でもないし、授業でもないし、ましてや強制でもないというところで、ちょっと他とは違う、何かプラスアルファの部分をもうちよっつと打ち出していけたらなというふうに今のところ考えております。といいますのも先ほど課題のところにもありました、生徒さんが高校選択する際のポイントについてチューターから

アドバイスを受けたことで進学意欲が向上したとか、チューターから学習計画、自分の時はこうやっていたよとか、そういったアドバイスを受けたことで、ノートのとおり方とか、そういう学習意欲が向上したというのもありますので、塾でもない授業でもない何かプラスアルファの要素を打ち出していただけたいのかなと思っています。具体的には年の近い大学生ですとか、地域に根ざしたところの先輩、人生の先輩なんかとも、未来塾が終わった後に少しお話の場が設けられたり、そういったことができるといいのかと思いつつ、そうすると学校の居場所をちょっと確保してもらおうとかチューターさんにもちょっと残ってもらおうとかの調整が必要になってくると思います。できる範囲でこの未来塾が形骸化しないような魅力的な事業になっていけるように、事務局としても対応させていただきたいと思っています。こういった皆さんの御意見がすごくありがたく思っております。本日、大変ありがとうございました。

事務局（瓜阪補佐）：以上で令和6年度第2回つくば未来塾運営会議を閉会いたします。皆様お忙しい中どうもありがとうございました。

令和6年度第2回つくば未来塾運営会議 次第

日時：令和7年(2025年)3月17日(月)

午後2時

場所：つくば市役所5階 501会議室

1 開会

2 主催者挨拶

3 議事

- (1) 令和6年度つくば未来塾事業実績報告
- (2) 課題を踏まえた令和7年度の取組について

4 その他

5 閉会

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 令和6年度 つくば未来塾事業実績報告書
- ・ 課題を踏まえた令和7年度の取組について
- ・ 令和7年度つくば未来塾学習チューター募集チラシ(案)

令和6年度 つくば未来塾運営会議 委員名簿

	所属・役職等	氏名	
1	つくば市PTA連絡協議会 会長	森田 修司	
2	つくば市青少年相談員連絡協議会 会長	中山 正巳	座長
3	青少年を育てるつくば市民の会 会長	中嶋 修	
4	つくば市学校長会 副会長	茂在 哲司	副座長
5	教育局学び推進課 課長	岡野 知樹	

令和6年度
つくば未来塾事業実績報告書



令和7年(2025年)3月17日(月)
つくば市教育局 生涯学習推進課

令和6年度つくば未来塾事業実績

1 実数と経年比較

①実施回数・実施時間

	項目	R6	R5	R4	R3	R2
A	実施延べ回数（回）	219	194	161	123	137
-	実施延べ時間（時間）	379	348	308	209	-

②学習チューター関連

	項目	R6	R5	R4	R3	R2
-	学習チューター延べ配置時間（時間）	1,550	1,498	1,380	907	885
B	学習チューター協力延べ人数（人）	852	781	685	501	605
-	学生協力延べ人数（人）	400	344	295	272	348
-	筑波大生（筑波大院生）延べ人数（人）	315	287	232	224	247
-	他大学生延べ人数（人）	85	57	63	48	101
-	一般協力延べ人数（人）	452	437	390	229	257

【参考】学習チューター登録内訳（実数）

	項目	R6	R5	R4	R3	R2
C	学習チューター登録数（人）	165	171	176	177	127
-	うち筑波大生・筑波大院生（人）	85	79	79	94	-
-	うち他大学生（人）	16	16	25	24	-
-	うち一般（人）	64	76	72	59	-

③生徒関連

	項目	R6	R5	R4	R3	R2
-	中学校・義務教育学校在籍数（人）	6,622	6,584	6,608	6,694	6,398
D	参加生徒延べ人数（人）	9,150	9,558	8,926	8,248	7,099
E	参加生徒実人数（人）	1,824	-	-	-	-

2 平均値と経年比較

	項目	R6	R5	R4	R3	R2
B/C	チューター1人当たりの活動回数	5.2	4.6	3.9	2.8	4.8
B/A	1回当たりのチューター数	3.9	4.0	4.3	4.1	4.4
D/B	チューター1人当たりの担当生徒数	10.7	12.2	13.0	16.5	11.7
D/E	参加生徒1人当たりの参加回数	5.0	-	-	-	-
D/A	1回当たりの参加生徒数	41.8	49.3	55.4	67.1	51.8

3 予算執行率

令和6年度つくば市一般会計予算 つくば未来塾に要する経費
歳入

節	摘要	交付決定額	交付確定額
社会教育費補助金	学校・家庭・地域連携協力推進事業 (地域未来塾) 補助金	2,870,000	-

つくば未来塾事業は、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（文部科学省）、地域の教育支援体制等構築事業費補助金（茨城県）を受けて実施しており、補助対象経費に対して、国、県がそれぞれ3分の1を負担し、合計3分の2の割合で補助を出している。

当初予算に基づいた市の交付申請に対し、令和6年8月付けで県生涯学習課より補助金額2,870,000円の交付決定があった。最終的な交付確定額は、市の実績報告に基づき、令和7年度当初に確定する。

なお、当該補助金の交付については、自治体でコミュニティ・スクールを導入していることが要件となっている。

歳出

節	細節	摘要	当初予算額	決算見込額	予算執行率
報償費	報償金	指導員謝礼	4,356,000	3,408,900	78.26%
		未来塾運営会議委員謝礼	30,000	6,000	20.00%
旅費	費用弁償	費用弁償	2,000	370	18.50%
需用費	消耗品費	事務用消耗品	360,000	312,096	86.69%
		テキスト代	360,000	226,487	62.91%
役務費	保険料	損害保険料	79,000	78,100	98.86%
合計			5,187,000	4,031,953	77.73%

4 執行率の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込)
予算額	4,279,000	2,910,000	3,721,000	4,581,300	5,187,000
決算額	2,283,013	2,265,630	3,071,952	3,757,541	4,031,953
執行率	53.35%	77.86%	82.56%	82.02%	77.73%

1 「生徒の学習上のつまずきの解消」に関して

・昨年度からアンケートの項目を変更することで、「つくば未来塾」の目的が明確になった。生徒が自分自身の成長に気付ききっかけになったり、教師が学習チューターと学習を支援を行ったりするうえで連携する部分が明確になった。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというあてはまる」と回答した割合

	質問項目	(新) 質問項目	R 4	R 5	R 6
生徒	参加する前よりも学力が身に付いたと思うか。	これまでわからなかった問題がわかるようになったか。	83.2%	81.3%	82.0%
教職員	生徒の学力向上を図る上で「つくば未来塾」の実施は有効だと思うか。	つまずきの解消、学習習慣の定着につながったか。	81.4%	82.2%	89.6%

2 「学習意欲の向上」に関して

・つくば未来塾に参加することから得られる様々な人との交流から、学習意欲が向上するきっかけが生まれている。
 ・今年度は特に、学習チューターに生徒の学習習慣の定着に向けて、ご自身の効果的な学習方法及び、キャリア教育につながる様々なお話を折にふれていただこうに依頼した。教職員への聞き取りから、学習習慣の定着に向けて意欲を高め継続している生徒もいるが、自分自身の日々の学習を振り返り、まだまだ、学習習慣が身につけていないとの気持ちにつながった生徒も多かった。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというあてはまる」と回答した割合

	質問項目	(新) 質問項目	R 4	R 5	R 6
生徒	集中して、又は、楽しく学習を進めることができたか。	集中して意欲的に学習を進めることができたか。	90.8%	93.8%	88.9%
	取り組んだ教科が以前よりも好きになったか。		69.9%	73.2%	61.9%
	つくば未来塾に参加してよかったか。		90.2%	91.0%	90.4%
	これからも学習に進んで取り組もうという気持ちになったか。	学習習慣が身に付ききっかけになったか。	87.6%	85.5%	75.2%
教職員	生徒は集中して、又は、楽しく学習に取り組んでいたか。		94.2%	90.4%	
	参加した生徒は以前よりも意欲的に学習に取り組むようになったかと思うか。		80.1%	79.5%	
	つくば未来塾を実施してよかったか。		83.3%	74.7%	84.9%

3 「学校と地域の協働連携」に関して

・昨年度と同様に筑波大学教職ガイダンスの中で、「つくば未来塾」の事業について説明をさせていただき、筑波大学と連携して実施した。筑波大学関係の学習チューターは85名であり、本事業において大きな支えとなっている。
 また、学習チューターのアンケートでは、各項目とも前向きな回答をいただいている。「生徒のために、ご自身の知識を伝えたい」と考えている方が多い。社会に開かれた教育課程の実現に向けて、今後は、学校と地域人材の信頼関係が構築できるような人的配置を行っていきたい。

※数値は、「あてはまる」「どちらかというあてはまる」と回答した割合

	質問項目	(新) 質問項目	R 4	R 5	R 6
生徒	先生や学習チューターに教えてもらってよかったか。	学習チューターに勉強を教えてもらう時間は楽しかったですか？	86.0%	87.6%	75.9%
教職員	学習チューターによる学習支援は、生徒にとって有効だったか。	教員以外による学習支援は、生徒にとって有効だと思ったか。	94.9%	89.0%	96.3%
学習チューター	生徒たちは集中して学習に取り組んでいたか。		97.7%	98.9%	97.6%
	学習支援はご自身のキャリアアップにつながったか。	ご自身の学びや成長につながりましたか	92.1%	91.6%	97.7%
	学習支援を通じて生徒の喜ぶ姿に出会えたか。	生徒と楽しく交流できましたか。	97.2%	97.8%	99.2%
	学習支援にやりがいを感じたか。	参加してよかったですか。	96.0%	98.9%	91.4%
	今後もつくば市の事業において、協力していただけるか。		95.5%	100.0%	100.0%

4 課題と対応

・学校の実態によっては、学習チューターだけに、未来塾の時間を任せられないこと。
 ・未来塾へのメリットを感じられていない教職員の方がいること。
 ・学習チューターの質の向上
 ・学習につまずきを感じている生徒の未来塾への参加促進を図ること。

課題を踏まえた令和7年度の実践について

学力向上、つまづき解消についての成果と課題

【成果】

- ・学習チューターが寄り添った関わりをしてくれたおかげで、生徒のわからない問題の解消が見られた。
- ・未来塾に参加する前に自らの課題を整理して臨んでいる生徒がいた。
- ・課題を解決するまで何度も学習チューターに質問する様子が見られた。
- ・学習チューターとのかかわりで、わからない問題を理解することができた生徒が多数見られた。
- ・学習チューターには、机間指導するよう依頼した。困っている生徒がいたら積極的に声をかけるようにしてほしいことも依頼した。難解な問題にチャレンジしたり、苦手強化を克服しようとしたりする生徒が多数いた。

【課題】

- ・生徒が学習チューターに質問を向けない。
→学校が事前に生徒が自らの課題をもって、未来塾に参加するように促す。
→生徒と学習チューターとの信頼関係を築く。→同じ学校へ同じ学習チューターを複数回配置する。
- ・学習につまづきを感じている生徒が、未来塾に参加できていない。
→生徒と学習チューターとの信頼関係を築く。→同じ学校へ同じ学習チューターを複数回配置する。
※教師と生徒では、評価するもの。評価されるもの。になってしまうこともある。教師とは別の人材が関わることも大切。

学習習慣の定着についての成果と課題

【成果】

- ・夏休みの実施が学習習慣の身につけていない生徒には有効であった。
- ・友人とともに学習することでの高め合いが見られた。
- ・自宅では、学習がはかどらないが教室で学習ができたことでいつもより集中できていた。
- ・家での学習より集中できたという声が多かった。気軽にチューターに質問できることや空調などの環境面を良かった点として挙げていた。
- ・生徒が高校を選択する際のポイントについて、学習チューターからアドバイスを受けたことで、進学意欲が向上した。
- ・学習チューターから学習計画などの具体的なアドバイスを受けたことで、学習意欲が向上した。

【課題】

- ・学習習慣を身につけてほしい生徒の参加が消極的なこと。
→生徒と学習チューターとの信頼関係を築く。→同じ学校へ同じ学習チューターを複数回配置する。
→学習だけでなく、学習チューターからキャリア教育の視点でお話をしてもらうなど、未来塾の在り方を工夫する。

実施方法について

【成果】

- ・期末テスト前に設定したことで、前向きに参加する生徒が多かった。
- ・学習チューターが積極的に関り、学習チューターの周りに机を配置し、少人数で丁寧な学習指導を行うことができた。
- ・集中して学習する教室と質問をする教室とを分けることでメリハリのある学習環境を整えることができた。

【課題】

- ・生徒の参加人数に合わせたチューターの配置人数を検討したい。
- ・夏休みに実施をしているが、夏季講習と重なっている生徒も多数いるので、時期を検討したい。
→他の学校の実施時期の工夫を伝える。11月私立面談の裏側での未来塾実施等
- ・参加人数に対して、チューターの人数が足りない。
- ・昨年度からの学年全員での未来塾実施から、少人数及び生徒の希望制に実施方法を変更することで、負担は減ったが、学校側がチューターと生徒の両者への対応をする状況が続いている。
→学校と学習チューター、生徒と学習チューターとの信頼関係を築く。→同じ学校へ同じ学習チューターを複数回配置する
→テスト前の未来塾実施にし、未来塾に配置する教員は技能教科の教員にする。配置する教員は学習チューターと生徒のつなぎ役になる。
- ・学習チューターの積極的な声かけ、座席の工夫をしたい。質問タイムの設定。

今後の課題について

- ・夏休み始めの一週間ではなくて3日くらいでよい。
- ・「ノートを見られるのが嫌だった」との回答あり
- ・アンケートの結果だけでよい。成果報告書の作成は必要ないのではないか。
→成果と課題のみ、アンケートで答えてもらう。
- ・チューターの質 一部ふさわしくない方がいた。
- ・生徒の前で食事をしたり、スマホをいじったりするような方がいた。本校の実態と合う学習チューターを希望する。
- ・学習チューターのみでは、学習に向かえない生徒もいるため、本校の職員も学習指導に参加している。働き方改革等を考えると、負担増になっている感がある。
→学校と学習チューター、生徒と学習チューターとの信頼関係を築く。→同じ学校へ同じ学習チューターを複数回配置する
→テスト前の未来塾実施にし、未来塾に配置する教員は技能教科の教員にする。配置する教員は学習チューターと生徒のつなぎ役になる。
- ・チューターの急なキャンセルがあった。
→オリエンテーション等で事前に周知徹底する。
- ・積極的に継続するメリットが感じられない。無くしてほしいという意見があった。
- ・「つくば未来塾」の意義や参加方法について、あらかじめ全校一斉で担当から生徒にしっかりと確認しておく必要がある。
- ・数学・理科の質問が多いので、チューターの得意教科を教えてもらえると良い
→現状難しいが、信頼のおける学習チューターの固定化

【様式6】成果報告書

令和〇年度つくば未来塾事業による成果の検証

つくば市立〇〇〇学校

1 検証の方法（「学力向上及びつまづき解消と学習習慣の定着」の観点から）

- （1）対象：
- （2）検証する教科：
- （3）検証方法：

2 検証結果と成果について

3 今後の課題（次年度に向け、本事業を実施する上で改善したいこと等）

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

※各校の形式を使用してもよいが、標題は変更しないこと。

※報告はA4版1ページ以内とする。

【様式4-1③】

「つくば未来塾」実施アンケート（教職員用）

※当てはまる番号（1～4）のいずれかを、○で囲んでください。
各番号の意味は下記の通りです。

- 1…「当てはまる」
- 2…「どちらかという当てはまる」
- 3…「どちらかという当てはまらない」
- 4…「当てはまらない」

- 1 「つくば未来塾」に参加したことで、生徒は学習上のつまずきが解消できたり、学習習慣の定着につながったりといった成果を感じますか。

1 2 3 4

1で回答した、具体的な理由を記入してください。

(例) 「つくば未来塾」での参加を通して数学の基礎的な問題を理解することができた等

- 2 「つくば未来塾」のように学校以外の方（地域の方や大学生）に教えてもらう機会は有効だと思いますか。

1 2 3 4

- 3 参加した学習チューターの印象をお書きください。

- 4 「つくば未来塾」を実施してよかったと思いますか。

1 2 3 4

3で回答した、理由を記入してください。

- 5 今後の課題（次年度以降、本事業を実施する際の改善点等）について御記入ください。

(例) 学習につまずきを感じている生徒が、未来塾に参加できていない状況がある。
→課題や提出物を学習チューターの方に手伝ってもらうなど、生徒の困り感に寄り添いながら未来塾事業を活用する等

御協力ありがとうございました。

令和6年度第1回つくば未来塾運営会議を受けての対応事項

会議での意見	対応
在籍生徒の内、何人程度が未来塾に参加しているかの数字が必要ではないか。	令和6年度の実績報告から、参加生徒の実人数を集計し、項目に追加した。
未来塾を各学校で担当している教務主任に対して、教務主任会で説明が必要ではないか。	11月の教務主任会定例会で、来年度の変更点の説明や、好事例の共有を行った。
学習チューターから生徒に対して、キャリア教育の観点から話をしても良いのではないか。	学習チューターを対象とした7月のオリエンテーションにおいて、キャリア教育の観点で声掛けをしてもらうよう助言した。

中学生の「学び」を 支援しませんか！



つくば未来塾学習 チューター募集

※申込状況によって、2次募集を行う場合があります。

申込受付期間

令和7年5月8日（木）～6月13日（金）必着

令和6年度は160名の学習チューターが活動しました

※一部アンケートからコメント抜粋



生徒

ずっとわからなかったことを解決できた



学習チューター

人に教える体験を通して自分自身の学びにもなった



先生

一人一人の「わからない」に寄り添い、丁寧に教えてくれた

「つくば未来塾
学習チューター」とは？

生徒の学力向上及び学習習慣の定着を目的として、つくば市内に18校ある市立中学校等の1～3年生を対象に、5教科（国・社・数・理・英）の問題の解き方や考え方等についてアドバイスをします。

※申込みの手引については裏面参照

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

問合せ
・
申込先

つくば市教育局生涯学習推進課
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL:029-883-1111(代)内線4524 8:45～16:30
MAIL:edc077@city.tsukuba.lg.jp



つくば未来塾 学習チューター 申込みの手引

応募資格

- 教えることに興味がある方、または学習支援に興味がある大学生や大学院生の方
 - 地域の中学生に熱意を持って学習支援ができる一般の方
 - 中学生を教えるにあたって、服装や言動等がふさわしい方
- ※ 特に筑波地区、谷田部地区、荃崎地区、みどりの地区に車等で移動できる方、大歓迎!!

実施日程

- 夏季休業日 夏季休業開始日～8月31日(日)
 - 平日の放課後 9月～1月末まで(6～7月に実施する場合があります。)
 - 実施時間 1日1時間～3時間程度
- ※ 学校行事等の関係により、変更がある場合があります。
※ 派遣日程や配置校等については、申込時の希望に基づき決定します。
※ 夏季休業中に活動できない方も、募集しています。

実施内容

- 生徒の学力向上及び学習習慣の定着を目的として、つくば市内に18校ある市立中学校の1～3年生を対象に、5教科(国・社・数・理・英)の問題の解き方や考え方等についてアドバイスをします。
- ※ 具体的な教科や支援内容については、各学校で決定します。得意科目を生かしたい方は、申込時にお知らせください。

謝礼

- 1時間の活動につき、2,200円の謝礼(交通費込み)を支払います。謝礼額から3.063%の所得税を控除した上で、銀行口座に振り込みます。

その他

- 活動に際してのボランティア保険は、つくば市負担で加入します。
- 学習チューターの活動内容や心構えについて、7月上旬に事前オリエンテーションを実施する予定です。学習チューターとして初めて活動する方は、必ず御参加ください。
- 応募者が多数の場合、御希望に添えない場合もありますので御了承ください。また、申込状況によって2次募集を行う場合があります。

申込方法

インターネット申込みの場合

パンフレット表面の2次元バーコードを読み込むか、市ホームページで「つくば未来塾」を検索し、いばらき電子申請・届出サービスからお申込みください。

用紙に記入して申込みの場合

市ホームページからダウンロードするか、生涯学習推進課又は市内各交流センターで用紙をお受け取りください。必要事項を記入の上、生涯学習推進課に郵送または直接お届けください。